21世紀石川少年の翼交流事業報告書

# 21世紀石川少年の翼
# 交流事業報告書

2024

『21世紀石川少年の翼』実行委員会

2024

# 目　次

C　O　N　T　E　N　T　S


Ⅰ 中国・江蘇省青少年交流事業（派遣） …… 1

- 私たちのリポート …… 2
- 交流の思い出 …… 13
- 研修を振り返って …… 22
- 色紙よせがき …… 23
- 資料編
  - 日　程 …… 24
  - 名　簿 …… 25

Ⅱ 韓国・全北特別自治道青少年交流事業（受入） …… 26

- 交流の思い出 …… 27
- 訪問を終えて …… 33
- 資料編
  - 日　程 …… 43
  - 名　簿 …… 44

Ⅲ 「21世紀石川少年の翼」これまでのあゆみ …… 45

Ⅳ 令和６年度「21世紀石川少年の翼」実行委員会委員名簿 …… 47

# 中国・江蘇省青少年交流事業（派遣）

期間：令和６年８月１日(木)～６日(火)

## 中国・江蘇省の豆知識

◎位　置
中国大陸の東部沿海地方の中心部、長江の下流に位置する。
東は黄海、南東に上海市、西は安徽省、北は山東省、南は浙江省に接する。

◎面　積
10.72万km²

◎人　口
約8,515万人

◎制　度
省が市を、市が県を管轄する行政制度
省直轄市：13
（南京、蘇州、無錫、常州、南通、揚州、鎮江、
連雲港、塩城、徐州、淮安、泰州、宿遷）

◎省　都
南京市

◎江蘇省ホームページ
http://www.jiangsu.gov.cn/（中国語）

*Ishikawa Japan~*

*~Jiangsu Province China*

# 私たちのリポート
# 事前研修

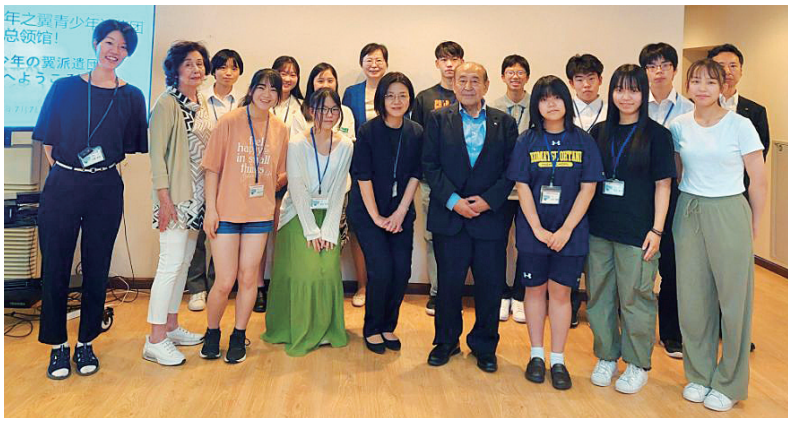
**事前研修**

日　時　7月6日（土）10：30～
　　7月7日（日）17：00
場　所　石川県青少年総合研修センター
　　中国駐名古屋総領事館
内　容　団員証交付式
　　オリエンテーション
　　事前学習
　　・派遣国について
　　・語学講座
　　・学校訪問の出し物決定、練習
　　・過去参加者（加藤彩子さん）による講演
　　中国駐名古屋総領事館でのビザ申請、壮行会

団員証交付式

少年の翼過去参加者（加藤彩子さん）による講演

学校訪問の出し物練習


総領事館壮行会

中華堪能

**真田　至恩**
金沢泉丘高校１年

事前研修では、８月に予定されている中国への海外研修に向けて、中国の文化や中国語、訪れる地域や学校について学んだ。また、中国の高校との交流の際に行う出し物の準備を行った。最初は緊張していたが、話し合いや出し物の練習を通して、次第に緊張は解け、皆と仲良くなることができた。２日目は中国のビザ申請を行うために朝早くから名古屋総領事館に向かった。ビザ申請の手続きが終わった後、総領事館の方々と一緒に昼食をいただいた。総領事館の方々はとても優しく、中国の話を沢山してくれた。８月の研修がさらに楽しみになった。

# 1日目　8月1日(木)

11:15　小松空港集合
12:00　結団式
14:30　小松空港発(MU558)
16:30　上海浦東空港着
夕　方　南京へ移動

**結団式**

場　所　小松空港２階国際線搭乗ゲート付近
次　第　団長挨拶
　　石川県国際交流課長　沖野　真奈美

上海へ向けて出発

上海から南京へ

## 芝山　董子

金沢二水高校２年

中国行きの飛行機は一時間遅れ、その間に去年派遣された方のお話を聞くことができました。「私も中国についていきたい」その言葉を聞いた時、中国に対して抱いていた不安は溶け関心が強まりました。飛行機に乗ると思っていた以上に早く到着しました。南京までのバス移動はとても長かったですがその分サービスエリアで食べたご飯はとても美味しく、特に角煮やラーメンが印象的でした。中でも驚いたのは中国では飲む水が常温であることです。初日から日本との文化の違いを感じました。

結団式

結団式

陽澄湖サービスエリア

陽澄湖サービスエリア

# 2日目　8月2日（金）

9:00　南京田家炳高級中学訪問
14:00　江蘇省文化創意成果展示センター
16:00　江蘇省友好団体交流大会

## 学校訪問①

場　所　南京田家炳高級中学
次　第　歓迎挨拶
　　交流会　校内見学

会場のようす

歓迎の演奏

南京田家炳高校にて

よさこい披露

### 大矢　真子
大聖寺高校２年

南京田家柄高校を訪問してまず驚いたことは、学校の敷地が広く、学校全体が広々としていたり、綺麗な中庭があったりと、日本の学校と大きく異なっていたことです。

学校全体が自然と調和されており、過ごしやすい環境だと感じました。

また、私たちが披露した歌と踊りを中国の学生たちが楽しそうに見てくれてとても嬉しかったです。私の中で特に印象に残っていることは、学校中を見て歩いているときに翻訳機を使って話しかけてくれて会話をしたり、一緒に写真を撮ったり、中国語を教えてくれたりと、とてもフレンドリーな学生たちと交流をすることができてとても楽しかったです。国境を越えた交流は体験することが難しいですが、これからも積極的に交流をしていこうと思います。

### 庄田　琉莉
小松大谷高校１年

南京田家炳高校訪問では、最初に建物の大きさと豪華さに目を奪われました。日本では中々見ない西洋のような外観で、学校が五階建てであることがとても驚きました。出し物の発表では中国の学生さんたちのフルートの演奏や、アニメの吹き替えを見て、出し物の完成度に感動しました。訪問前は初めての中国の学生との対面に期待と緊張で胸がいっぱいでしたが学校見学では中国の学生さんたちが英語や翻訳機器を駆使して積極的に話しかけてくれたので、とても嬉しい気持ちになりました。

江蘇省文化創意センター視察

南京伝統の手織り工芸「南京雲錦」作り

江蘇省友好団体交流大会

江蘇省友好団体交流大会

## 森永　崇義

七尾高校２年

８月２日午後からは交流大会に参加しました。交流大会ではパズルを作ったことが強く印象に残っています。３枚目に書いてあった漢詩が凄く格好よかったです。３行目の意味は理解できなかったのが残念です。次の機会があったときのために漢詩の勉強も頑張って行きたいです。５日目にホストファミリーに教えてもらいました。内容もこの状況にあっていて凄く感動しました。ホストファミリーのことを忘れずに漢詩と一緒にいつまでも大切に覚えておきたいです。漢詩勉強をすることによって現代の漢文の意味を思ったより理解出来ると思います。高校生の間は中国語を勉強しても、時間が中途半端になりそうなので、漢詩を頑張りたいです。漢詩の中国語読みは、音を一時的に楽しむのではなく、対応する漢字とあわせて暗唱出来るくらいにまでは勉強していきたいです。

パズル制作

大会寄せ書き

# 3日目　8月3日(土)

9:00 中山陵
13:15 宿遷高級中学訪問
16:15 ホストファミリーと交流・夕食
20:30 中国茶文化体験

**学校訪問②**

場　所　宿遷高級中学
次　第　歓迎式典
　　団員代表挨拶
　　小松高校2年　中川　銘崇
　　ホストファミリーと対面
　　校内見学　砂絵制作　学生食堂で夕食

南京中山陵

南京中山陵登頂

南京中山陵からの眺め

南京中山陵

南京中山陵

校内見学

校内見学

## 中川　銘崇
小松高校２年

３日目の午前は南京中山陵に行きました。中山陵は中国国民党を創設した孫文のお墓です。約400段もの階段の頂上に祭壇があり、中央に大理石の孫文の座像、奥の霊堂に霊柩があります。38度の真夏日の中、頑張って登った頂上の景色はとても綺麗でした。孫文の座像は意外と大きく驚きました。また、とても暑い日にも関わらず中国の方々が多く中山陵に来ていて、中国の人々が歴史をとても大事にする人々なんだなと感じました。中国の素晴らしい歴史と中国の方々の自分の国を大切にする気持ちに触れることができた素晴らしい経験でした。

歓迎式典

砂絵制作

砂絵披露

校内見学

学食にて

絵馬をかける

絵馬を書く

絵馬を書く

学食にて

学食にて

中国茶文化体験

学食にて

お茶を入れてみる

お茶を入れてみる

お茶を入れてみる

## 岡﨑　有香

金沢二水高校１年

３日目の午後は宿遷高校を訪問しました。まず、校舎について、その大きさと迫力、華やかさに驚きました。日本の高校からは考えられないほどの敷地の広さ、そして設備が充実していました。ここで初めてホストファミリーの生徒とも対面し、一緒に学校を回りながら話しをしました。言語の壁がありながらも、翻訳機や英語を利用してコミュニケーションをとることができました。会話ができた時の喜びは忘れられません。お願い事を札に書いたり、木にお水をあげたり、砂絵をホストファミリーの子と一緒に作ったりとさまざまな活動を通して、より仲良くなることができました。

# 4日目　8月4日(日)

8:45 馬陵高級中学訪問
14:30 項王故里
15:30 ホームステイ先各家庭へ　ホストファミリーと交流・夕食

**学校訪問③**

場　所　馬陵高級中学
次　第　歓迎式典
　　団員代表挨拶
　　金沢大学附属高校2年　齋藤　真凛
　　交流会　校内見学　篆刻制作　学生食堂で昼食

学食にて

学食にて

教室にて

校内放送部のインタビュー

篆刻

篆刻

ジェスチャーゲーム

篆刻

ジェスチャーゲーム

篆刻

## 齋藤　真凛
金沢大学附属高校２年

最後の学校訪問でした。ここには本格的な報道環境が整えられた放送室があり、私たちはそこでジェスチャーゲームをしました。国境を越えてもノンバーバルコミュニケーションは比較的通じると言うことに驚きを感じました。しかし、虎など中国の故事と関わりの深い動物などがお題になるとやはり意思疎通が難しくなる瞬間がありました。その後、校舎を巡りました。休業期間でありながら、日々の学習の様子が垣間見える溢れんばかりの教材が詰まった引き出しの中身を見て身の引き締まる思いになるとともに机上に貼られていたシールのお茶目さに思わずホストファミリーの子と一緒に笑ってしまいました。馬陵高級中学では細かな文化の差を目の当たりにし、また、一学生として初心に返ることができたので非常に有意義な時間を過ごせたと感じています。細かな文化の差を乗り越えていくことが相互理解の大きな一歩に繋がって行くのではないかと小さな差を前にして奮闘している団員メンバーを見て私は思いました。

## 池田　彩乃
金沢泉丘高校２年

団員とそれぞれのホストシスター、ブラザーで項王故里を訪れました。項王作の「垓下の歌」は古典の授業で学習した漢詩の中でも印象に残っています。その項王が生誕した地に自分が立っていると思うと不思議な感覚でした。ホストシスターによると項王故里はお月見にぴったりで、その季節には家族で訪れるそうです。私は中秋節のたびにこの場所とホストファミリーを思い出すことになりそうです。そして、いつかの中秋節にまた宿遷に訪れたいと思います。

鐘つき

龍門

龍門の前で鯉を放流

箏の演奏

項王故里

項王故里

項王故里観劇

北間さんホストファミリー

別所さんホストファミリー

池田さんホストファミリー

芝山さんホストファミリー

岡崎さんホストファミリー

中川くんホストファミリー

齋藤さんホストファミリー

大矢さんホストファミリー

川崎くんホストファミリー

真田くんホストファミリー

庄田さんホストファミリー

森永くんホストファミリー

## 川崎　正照

金沢泉丘高校１年

僕が古代の物流に興味があると知って、ホストファミリーは京杭大運河に連れて行ってくれました。ここは西暦610年に隋の煬帝が切り開いた中国を南北に貫く当時の物流大動脈で宿遷でも有数の観光地です。ここには全面ガラス張りの橋がかかっているのですが、川面からかなりの高さがあります。もとより僕は石橋でも叩いてわたる性格です。あまりの高さに忽然として中国語で文章が出てこなくなり、身振り手振りに加えて「嫌だ」「行きたくない」などの幼稚な中国語単語を連発してしまいました。ホストファミリーは大爆笑しながらも「ガラスは割れないから心配いらないよ」と優しく案内してくれました。家庭でもいっしょに餃子を作りながら、日中の日常生活の違いについて興味深く話をしました。今度会うときはもう少しだけ中国語をブラッシュアップしておこうと思います。

## 別所　凛

金沢錦丘高校２年

ホストファミリーの子と一緒にショッピングモールに行き、カフェに寄りました。私が想像していたカップのサイズより２倍以上のサイズが出てきてびっくりしました。こんなにたくさん飲めないと思ったけどジュースが美味しくて一瞬でなくなりました。その後は一緒にショッピングをしました。コスメを見たり中国のお菓子を紹介してくれました。中国のお菓子はカラフルできれいでした。夜ご飯はホストファミリーと一緒に中華料理を食べに行きました。初めて食べるものばかりで少し抵抗があったけど食べたらとても美味しかったです。ホストファミリーはとても優しく、笑顔で迎えてくれて嬉しかったです。中国の人はいつも笑顔で素敵でした。

# 5日目 8月5日(月)

9:00 皂河龍運城
13:26 上海へ移動(高速鉄道·G8277)
17:30 上海市内視察

京杭大運河

皂河龍運城

治水の歴史を学ぶ

宿遷駅

皂河龍運城

高速鉄道に乗車

# 6日目　8月6日(火)

5:40 ホテル発
8:55 上海浦東空港発(MU225)
12:10 関西国際空港着
13:15 金沢へ移動
18:30 金沢駅着　解団

解団式

解団式

## 北間　莉子

北陸学院高校２年

私たちの中国での旅もいよいよ最終日を迎えました。この日は朝の５時半集合だったため、眠気と闘いながらも私たちはホテルを後にしました。上海空港の中では地下鉄に乗って移動をすることもあり、最後までワクワクが止まらなかったです。関西国際空港に着いた時は日本語が通じ、安心感でいっぱいになりました。石川県に帰るまでのパーキングエリアで買った日本食が美味しかったのを覚えています。私はバスの中で、中国で仲良くなった友人とスマホで会話をし、中国での思い出を振り返っていました。全員で無事に派遣を終えることが出来て本当に良かったです。

# 交流の思い出

金沢泉丘高等学校２年　池田　彩乃

前々からの訪中の願望が遂に明日叶うのだと思うと、前日の夜は興奮であまり眠れませんでした。一日目は移動がメインだったので、バスの中でずっと寝ていれば良いかと考えていましたが、バスから見える景色の新鮮さに釘付けになってしまい、結局全然眠れませんでした。上海から南京への移動を金沢から名古屋くらいの感覚で捉えていたのですが、移動には六時間ほどかかりました。途中に渋滞や休憩があったことを踏まえても中国の広大さを実感せずにはいられませんでした。高速道路のサービスエリアで中国初めての夕食を食べました。中国派遣にあたって食事の心配は少なからずありましたが、口に合う料理ばかりでおいしかったです。ただ、赤系統の色素を全く含んでいない、いかにもあっさりとした見た目の料理が激辛だったときは流石にびっくりしました。

派遣中に３つの高級中学に訪れ、中国の高校生活がどのようなものなのか肌で感じることができました。日本の高校では考えられない敷地面積と生徒数、講堂や会議室に設置されている壁一面の巨大液晶パネルなどに驚きを隠せませんでした。交流した学生の皆さんは気さくな方が多い印象で、最初は言語の壁に戸惑いましたが英語や翻訳ツールを駆使して楽しい時間を過ごすことができました。宿遷高級中学と馬陵高級中学では食堂で食事をさせていただきました。料理の種類がとても充実していて全種類食べることはできませんでしたが、手に取った料理がすべておいしかったため胃の小ささが悔やまれます。

期待と不安のホームステイは、結果から述べると大成功、大満足でした。ホストファザーが車で大きなショッピングモールに連れて行ってくださり、ホストシスターと二人で行っておいでと笑顔で見送られました。ショッピングモール内でホストシスターの友人が二人登場し、四人でショッピングをしました。可愛いアクセサリーを売っている店を紹介してくれて、おそろいのヘアピンを買うことができて嬉しかったです。ホストファミリーの家に帰ると、夕食の餃子を一緒に手作りしました。皮から手作りの餃子は初めてで感動しました。ホストマザーが一つ一つの皮を手際よく伸ばしていく姿には思わず見とれました。私はタネを包む役で、出来上がりが綺麗に見える包み方を教えてもらいながら作りました。餃子作り中は手が空いていないので翻訳ツールは使えず、ホストマザーは英語を話せないようなので、身振り手振りと表情でコミュニケーションをとりました。サムズアップと笑顔のセットが大活躍の最高の時間になりました。餃子を包み終えて夕食の完成を待つ間にホストシスターに水墨画を教えてもらいました。一緒に描いたものとプレゼントしてくれたホストシスター作の水墨画は宝物にしようと思います。

一生の思い出となる素晴らしい体験をすることができた６日間でした。中国派遣に関わったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

大聖寺高等学校２年　大矢　真子

**自分の目で中国という国を見たい**

様々な情報で溢れかえっている今、自分で感じる、自分で考えるということが私自身とても鈍くなっていると感じていました。中国について何も知らない私だからこそすでにある情報に簡単に惑わされたくないという思いで中国に渡航しました。実際に中国に行ってみると空気はとても綺麗で日本とあまり変わらないと感じました。交通の面では車の交通量が日本よりも多く日本の人口と中国の人口の違いなのかもしれないと思いました。

孫文の墓に行った時、学校で習った建造物が私が思っていた以上に大きくて迫力があって驚きました。孫文の銅像にたどりつくまでみんなで長い距離を歩いてやっとたどりついた頂上から見た景色は、絶対に忘れられない思い出となりました。そして中国の歴史についてもっと知りたい！と感じることができました。

ドキドキインタビュー

３つの高校を訪問してどの高校も学校の敷地が広くて複数の校舎があったりと、日本とは全く異なりました。机や椅子の形や色、教科書を入れる場所など初めて見るものが多く日本の学校との違いについて自分なりに学ぶことができました。

初めてバディの学生と会った時は緊張して中国語で練習した自分の名前を言えなくて悔しかったです。しかし、私の名前をしっかり覚えていてくれて私の名前を呼んでくれたのでとても嬉しかったです。私とバディは英語と中国語、少しだけ日本語を話していて３カ国語が混ざった会話をしていたことがとても印象深いです。食事をするときに、恋バナをしたり、中国の学校生活を聞いたり、いろんな話ができました。最初はちゃんと会話できるか不安だったけど、想像以上

バディ大好き

withホストファミリー

に盛り上がって楽しくコミュニケーションをとることができたので嬉しかったです。

ホストファミリーと対面した時はとてもウェルカムしてくれて、自分の中でやっと会えたという感情が込み上がってきて感動したことを覚えています。ホストファミリーがまず最初にスーパーに連れてってくれて、バディがオススメの中国のお菓子やカップラーメンを教えてくれて一緒にお土産を選んでくれました。「アイス食べる？」と言われて、バディが選んでくれたアイスを食べてみると、だんだんゼリーのような食感になるアイスで面白かったです。中国で食べたアイスは個人的に日本のアイスよりも美味しかったです。

大好きになった面白いアイス

スーパーで買い物をした後はホストファミリーの家に連れてってくれました。家はマンションで階段を登っていくと、ここが家！と教えてもらいました。玄関がなくてどこで靴を脱いだらいいか分からなかったけどバディのマネをしてドアの前で靴を脱いで靴を持って家の中に入りました。中に入るとバディの弟と料理人さんがいて挨拶をしました。バディの家では白い子猫と１匹のインコを飼っていて、バディと弟が紹介してくれました。「トムとジェリーみたいだよ」と言われてまさにその通りな仲でとても面白かったです。リビングにはお菓子やジュース、フルーツなどが並べられていました。バディが私に「弟はあなたにジュースを飲んで欲しいんだよ」と通訳してくれて、たくさんジュースがあったのは私が選べるように置いてあったのかなと思って、嬉しかったです。

本場の味！ホストファミリー家のご飯

バディと一緒に作りに行った宝物

ホストファミリーと作った餃子

そして、バディの部屋も紹介してくれました。部屋にはたくさんの本や教科書が置いてあって、夜10時まで学校があると聞いていたので、私よりもはるかに勉強をしているんだなと実感しました。日本の有名な著者も知っていて、私ももっと勉強して、いろんな人に必要とされる人になりたいと思いました。韓国アイドルの話やバディの友達の写真、日本の学生と話す内容はほとんど変わらず、本当に同じ学生なんだなと驚きもありつつ知識が豊富なバディをとても尊敬しています。

リビングに戻るとホストファザーがオリンピックを見よう！と言ってテレビを一緒に見ました。バディが翻訳で「私の家族は、飛び込みを見ることが好きなんだよ！」と教えてくれました。テレビを見終わったらバディが餃子作ろう！と言ってくれてホストマザーとバディと弟と私で餃子を作りました。餃子の皮をホストマザーが生地から作っていて、触ってみるとモチモチした感触でした。日本には餃子の皮が売ってるけど、ホストマザーが作ってくれた餃子の皮は本場のもので見ているだけでワクワクしました。私は餃子は何度か作ったことはあったけどあまり上手く作ったことがないので、ホストマザーに教えてもらいながら作りました。夕飯の時間になるとみんな揃って食卓を囲みました。いろんな中華料理が並んでいて、ホストファミリーにトライトライ！と言われてほとんどの料理を食べました。初めて食べる料理も食べやすくてどれも美味しかったです。ホストファミリーからお茶のお土産をもらいました。中国ではお茶を渡す文化があると教えてもらいました。私も日本から持ってきたお土産を渡すとホストファミリーはとても嬉しそうに貰ってくれたのでホッとしました。

叶いますように

中国感動!!

私のホストファミリーは私にとても良くしてくれました。別れ際に私はバディに「ぜひ日本に来てください。私が案内します！」と言うと、笑顔で大きく頷いてくれたことが私の中で１番心に残っています。

短い間だったけど中国の学生たちや、ホストファミリーに出会い、中国の歴史に触れることができて、渡航する前よりももっと中国が好きになりました。これからの私の人生に勇気や希望を与えてくれた派遣となり、私の高校生生活の濃い思い出の１ページができました。

金沢二水高等学校１年　岡﨑　有香

中国に行って、実際に自分の目で見て、体験することで、知らなかったことを知ることができたし、実際の中国について学ぶこともできました。

訪中前は、中国のイメージといえば経済発展、受験戦争と漠然としたものであり、ホストファミリーの学生とも仲良くなれるか不安でした。訪中１日目、南京に行く途中で寄ったサービスエリアで、中国に来て最初の驚きを覚えました。夜にもかかわらず人は多く、外観がとてもカラフルでした。サービスエリアというよりもショッピングモールという感じで、天井が青空の壁紙など、中の内装もとてもかわいかったです。経済発展のイメージから、街には高層ビルばかりだと思いきや、高層ビルはあるものの、木や森も多く、自然と調和した街並みだったのが意外でした。中山陵を訪れた時、お土産屋さんで店員さんに話しかけられたのですが、中国語が分からず困惑していると、紙とペンを持ってきてくれて、漢字からなんとか相手の言わんとすることを読み取ったり、向こうも一生懸命理解しようとしてくれたりしたところにあたたかさを感じました。中国の高校を３校訪問したのですが、どの学校も日本の高校からは考えられないほど大きく、そして広くてとても驚きました。そして、待ちに待った生徒との交流。最初は緊張して日本人同士で固まってしまっていましたが、中国側の生徒が写真を撮ろうと言ってくれたおかげで、そこから話すことができました。国は違ってもやはり同世代だと盛り上がる話は同じで、美容や恋愛の話で女子同士盛り上がりました。ホストファミリーの子たちとも、恋バナで盛り上がり、一気に距離が縮まった気がしました。

中国の料理は、量がとにかく多いというのが印象深いです。お店に行っても食べきれないくらい出てきました。ホストファミリーとの対面は一番緊張しましたが、みなさん優しくて、中国語があまりわからない私にも翻訳機などを利用してたくさん話しかけてくれました。夕食は中華料理屋さんに連れて行ってもらい、ターンテーブルで食べました。ライオンの頭や麻婆豆腐、餃子、辛めのトマトベースのソースがかかった固めたご飯などを食べました。中山陵や項王故里などの中国の歴史を感じる観光名所も訪れ、現代の近未来的な姿だけでなく、中国の長い歴史も感じることができました。この６日間の旅を通して、中国のイメージが変わったとともに、異文化理解が高まりました。派遣団のメンバーとも協力して過ごすことができたし、とても楽しく、有意義な６日間になりました。今回のこの貴重な経験を活かして、これからの国際交流に繋げていきたいと思います。

金沢泉丘高等学校１年　川崎　正照

奈良時代の遣唐使は危険な船旅で中国へ渡った。順風でも十日前後の長旅だったという。今回の「石川少年の翼」はさすがに「翼」だけに上海までひとっ飛びだ。小松空港を離陸して、所要時間は僅か二時間三十分。日中両国はそれぞれに高速鉄道網が整備されているため互いの国のどの都市へも半日もあれば移動することが出来る。

今回の旅の目的地は宿遷だ。宿遷は中国では最も礼儀正しい都市とされているが、歴史的には項羽の故郷として有名だ。漢王朝を築いた劉邦のライバルだった項羽は、漢文や詩吟に親しみのある僕たち日本人には馴染み深い。僕にとっても項羽は横山光輝の漫画や中川一政の絵画で親しんだ悲劇の英雄だ。宿遷には広大な敷地に楚漢の城砦が再現されており、あまつさえ項羽や虞美人と一緒に記念撮影までしてもらえる。この文を読んで中国観光を計画する歴史好きがいらっしゃれば、どの都市よりもまず宿遷をお勧めしたい。

中国では有名高校への表敬訪問や文化体験交流も印象深かった。特に彫刻刀で滑石に篆刻を彫り印章を作る体験では、文書に対してサインではなく印章を押す点に日本との共通点を感じるとともに、日本に伝わる前の漢字の成り立ちにについて深い感銘を覚えた。古来のある種の象形文字が形を変えつつも4,000年の歴史を受け継がれるという点では世界史に漢字を除いて例を見ない。

けれども、あらためて生涯の記憶に残る思い出を記すなら、寄宿先の王君家族との交流だ。王君はとても聡明で僕の拙い発音に度々矯正を試みつつも、しかし閉口することなく多くの会話を楽しんでくれた。彼の家では餃子を作った。一家が手際よく包む中で日本から来た不器用な僕が、具が漏れる・ヒダが出来ない・皮が破れるなどの窮地にあって、咄嗟に助けを求めて「阿姨！（おばさん）」と呼ぶと、彼女は外国人が中国語で自分を呼ぶことに軽く驚きつつも、いっそう丁寧に包み方を教えてくれた。

旅の印象は名所旧跡よりも旅路での経験で決まる。21世紀のツーリズムで求められる旅行先とは、インターネット

で簡単に下見できる有名スポットではなく、等身大の旅行者が心に触れる体験を出来る場所、そして一度訪れたら再び訪れずにはいられない出会いのあった空間だ。

小松空港に直接あるいは、成田空港や関西空港を利用する外国人が北陸新幹線で移動する目的地はまぎれもなく石川だ。外国人にとって摩天楼ばかりの大都市は他の外国と大差はなく、京都はいい意味で敷居が高すぎる。僕はこの旅を通して外国人ツーリストが旅行対価以上の価値を感じられる場所は石川をおいて他には無いとの確信を新たにした。かけがえのない体験の機会を提供してくれた石川県に深い感謝を申し上げる。

北陸学院高等学校２年　北間　莉子

「おもしろそう！」そんな単純な思いから今回の派遣に応募しました。

正直、今まで漠然とではありますが中国に対し良いイメージを持っていませんでした。だからこそ、ポスターにある「リアルな中国をあなたの目で確かめてみませんか」というフレーズに惹かれ、応募しました。

実際に中国に行って驚いたことは、想像していた以上に日本とスケールが違ったことです。私達は３つの高校に行きましたが、高校一つが大学のようでした。小さな山やプラネタリウム、飛行機を研究している場所、博物館のような学校の歴史。どれも興味をそそられるものばかりでした。また、思ったよりも室内が暑かったことです。建物の中なら涼しい！と聞いていたし、外は暑くても中は大丈夫だと思っていました。しかし実際は違い、バスやホテルは涼しいけれど学校やその他の建物は暑かったです。日本よりも建物の中は涼しいと思っていたけれども行ってみると全く違い、驚きました。

一番不安だったことは、言語の壁です。中国語も英語も堪能ではない私は本当にこのまま中国の方と会っても交流が上手くできるのだろうかと心配でした。実際は自分が思っていたより、言語の壁があっても交流することができました。基本的には拙い英語で話し、それでも分からないところはスマホの翻訳機を使いました。最初は翻訳機ばかりに頼っていましたが、慣れてくると段々と自然に英語で話せるようになったのが分かり嬉しかったです。もっと英語や中国語が話せれば！と思うことはありましたが、それでも充分交流を楽しむことが出来ました。

ホームステイ先の方々との交流では、私が手紙で「バドミントンが好き」と書いたところ、体育館まで連れていって頂き一緒にバドミントンをすることができました。その体育館すらバドミントン専用の体育館で、日本との大きさの違いを感じられました。私の手紙を読み一緒にしてくれたこと、言語の壁があってもスポーツをできたこと、とても嬉しかったです。最後に400ページを超える分厚い本をもらいました。私はまだ中国語が出来ないので、これから少しずつ読み解いていこうと思います。

今回の派遣では中国の人の優しさに沢山触れました。また、自分の目で見てみないと分からないことばかりだと感じました。今回の少年の翼に参加することが出来て本当に良かったです。

金沢大学附属高等学校２年　齋藤　真凛

“中国”そう聞いて私は父が思い浮かんでしまう。日本国内の情報をもとに幼少期から私が彼から聞いていた中国という国はお世辞にも良いと言えるようなモノではなかった。娘の初めての海外、それも中国であると聞いた父のはじめの反応は「行くのは辞退した方が良いのではないか」の一言だった。己の目で現実を見ないで自身の中で形作られた真実だけでモノを語るのは違うと私はずっと思ってきた。思えば、幼い頃に生まれた父への反骨精神なのかも知れないが…。私は父をなんとか説き伏せ、中国へと出発することができた。

私は中国に渡るにあたって自分の中で決めていたことがある。それは、しがらみにとらわれることなく目の前の人間と交流することに注力すると言うことである。幼少期にかけ慣れてしまった色眼鏡を排除しながら交流をするのは神経を使うし、何より疲れた。でも、そうしたことで得られた気づきは数多くあった。

その中でも一番の気づきは、中国の方々は思いのほか優しかったことである。中国の方々はまるで身内をもてなすかのように外部の人間である私たちに接し、困っているときは口にせずともさっと助けてくれた。私たちは属する国は違えど、共鳴しあうことができたのである。

例えば、言語の壁。私は派遣前に独学で中国語をHSK３～４級レベルまで勉強していたが、本場では聞き取ったり読んだりすることはできても、うまい言葉が出てこなかったり、頭で文章はできていても言いよどんでしまうことが多く、加えて相手のホストファミリーの子は中・韓・露の三カ国語は理解できるが日本語や英語は難しいといった具合であった。なので、少し踏み込んだ話題になると会話が続かないという現象が起こる。そこで彼女は自分の好きなモノについて携帯を使って見せてくれたり、私の好きなモノについて中国ではこうなっているというのをスマホで画像を見せてくれたり、一緒に美甲（ネイル）の柄を選ぶなどして話題の流れが止まってしまわぬよう助け船を幾度と

なく出してくれた。

またホテルではチェックアウトのために大荷物を持って部屋を出ようとしたとき、鉢合わせたチーフの方が迷うことなく扉を支え続けてくださった。このような場面は他にも沢山見られ、私の中でイメージがかなり変わったのを覚えている。

このような視野が広がる経験は現地の人と雰囲気と文化に触れることでしか得られないことだと思う。今後機会があれば、果敢にチャレンジしていきたいと思う。

ここからは日にち毎の思い出を詳しく明記していきたいと思う。

～１日目（８月１日）～

中国東方航空の飛行機に乗って中国に向かった。小型飛行機で座席との間がすごく狭く、着離陸のときに謎の白い空気が天井の隙間から噴射され、飛行機に乗っていても機体が傾いているのがわかるくらい急に高度を変えるのがジェットコースターみたいで面白いと思った。中国の航空会社は機内食が必ず用意されていて、ごみの回収やお茶やコーヒーをお願いすれば、客室乗務員さんがしてくれるというのが素晴らしいと思った。空港には顔認証のためのパネルが沢山並んでいて、スムーズに検閲に向かえるのがいいなと思った。検閲の際、何も問われなかったのが少し気になる…。

～２日目（８月２日）～

まず、南京田家炳高校を訪問した。校舎の壁に世界の偉人の顔写真と説明が関連教科の部屋付近に必ず置かれているのが面白く、ためになるので、ぜひ日本でもやってほしいと思った。中国に着いて初めて人前で出し物をしたのだが、結果１回目は声が届かず、マイクを何人か持たされ、何とか歌い切った。ソーラン節は音源が少々面白いことになって途中途切れつつも何とか終え、笑いありの面白い発表となったのである意味よかったのかもしれない。三人のお友達ができた。「時間が押した関係で交流タイムがなくなり、ゲームができなくなったので、ゲームの景品を特別に真凛さんにいっぱいお話ししてくれたからあげます。」と言われて、きれいな手帳を頂いた。「この手帳の刺繍は伝統のものだ。」と教えてくれた。大切に使っていきたいと思う。

江蘇省友好団体交流大会では大きなパネル状に一つの絵を完成させて友好の証を作った。記念撮影の時の中国語の指示が聞き取れたのがうれしかった。

南京視察の際に寄ったお土産屋さんで「你好」や「谢谢」以外の中国語を初めてまともに使って店主におすすめのお土産やお土産の値段について会話ができたのが今日で一番うれしかった。

歓迎夕食会など中国に来てからすごい量のご飯を食べていて寝るまえに派遣が終わるころには太っているかも（泣）と思った。（←そんなことはなかった。）辛くなさそうな料理がとても辛く食文化の差を痛感した。

～３日目（８月３日）～

宿遷高校に訪問しに行った。名古屋やその他の派遣団の人もいて各々用意してきたモノを発表した。私たちは「最初的梦想」（日本語名：「銀の竜の背に乗って」）の合唱とソーラン節の群舞をした。昨日の反省を生かし、今回はマイクを持つことなく、踊りもミスすることなく無事終えた。お茶の体験をした。工程が葉っぱによって異なり、一種あたり７～８くらい工程があったので難しいなと思う反面機会があれば学んでみたいと思った。

～４日目（８月４日）～

馬陵高級中学で砂絵や篆刻を作りながら学校をめぐった。一番難しい絵を選んだのだが、篆刻が思いのほかうまくいって中国の方々とそれをきっかけに中国語や英語を使ってお話で来たのがうれしかった。英語でお話ししてくれていたのが、25歳の　臧秀丽さんで、大学でも英語を学んでいるらしい。食堂でこの方とホームステイ先の子ともう一人めちゃくちゃ篆刻や言語学習のことを褒めてくださった男のカメラマンさんとでご飯を食べた。

派遣期間中たくさんの歴史館を巡った。歴史館には演劇や映像で歴史や治水について学べる場所があり、映像の魔物と人間がコラボしている演劇と皇帝への貢ぎ物を運ぶ船を振動や揺れまで模倣した施設が面白くてすごく内容とともに記憶に残った。

その後、孔明の歴史館からホームステイ先に行った。みんなホームステイ先の子のお友達が来がちであったと言っていた。昨日のバスの中で５日目に何をしたいか事前に聞かれプランが出来上がっていたので、まずネイルをしてもらいにネイルのお店に行った。人生初めてのネイル屋さんが海外なのは中々できない体験だったと思うからよかったと思う。子どもちゃんがネイル屋さんにいたので、年齢を聞くなどして中国語で少し会話した。沢山のものを、「日本の友達へのお土産にこれはどう？」「買ってあげるから。」を断り切れず、買っていただいてしまった。少し申し訳ない。家についてからは写真をとったり、双方の大学事情やアニメ事情について話したり、みんなの好きな中国アニメをみたりした。おすすめされたお菓子をみんなで食べた。ホームステイ先の子が「ちょっと辛い」といって平然といくつも食べていたものが私にとってはとっても辛くて一袋でギブアップしたのはいい思い出である。夕飯はみんなで一から餃子を作って食べた。とてもおいしかった。

～５日目（８月５日）～

上海のほうへ宿船站から高速電車に乗って帰国のために移動した。中国のスーパーに寄って（この時张さんに謎の飲み

物について中文で聞いた。）、お土産などを買った。日本と同じく、袋は有料で店員さんに頼む必要があったので、中国語で頑張った。同行者の张さんが喉にいい飲み物を教えてくださった。

～６日目（８月６日）～

朝４時30分に起きてスーツケースの重量と鍵を閉めるのに奮闘した。

検閲ではなぜか中国人だという前提で、「中国語しゃべれるよね。」と中国語で聞かれ、「うん」と答えると「渡航先は？」と中国語できかれ、「日本」と中国語で答え、その後の荷物検査も「これあなたの荷物？」などと全部中国語できかれ続けたのは良い思い出である。もっと沢山の会話を障壁無く行うために中国語の学習を頑張りたいと中国語学習に対するモチベーションがこの派遣を通して一段と上昇した。

時間が余ったので上海空港のお土産売り場で熊猫（パンダ）のぬいぐるみと伝統的な柄のポーチを二個購入して、お金を使い切った。上海空港の搭乗口に行くまでに高速列車に乗る必要があって、それがハイテクでかっこいいと思った。

金沢泉丘高等学校１年　真田　至恩

私の中国派遣は学校で配られた、１枚のチラシから始まりました。台湾の大学を卒業後、上海に駐在していた姉の影響で、以前からアジア、特に中国に興味を持ってきました。台湾有事や反スパイ法など、ニュースで見聞きする中国には怖いイメージがある一方、歴史的建造物やアジア大学ランキング上位の優秀な大学が多いなど魅力的な面も多くあります。私はイメージだけで判断するのではなく、実際に中国に足を運び、現地の高校生やホストファミリーと交流し、真の中国を体感したくて応募しました。派遣団員に内定してからは物心ついてから初めて海外に行くのもあって不安もあったが、楽しみで心が躍っていました。

中国に到着してまず感じたのは日本とは比べ物にならないような暑さでした。体に吹き付ける風は熱風で、日差しはとても鋭く、痛かったです。私にとって聞こえてくる中国語や空気の匂い、建物、景色、広告、テレビ、全てが新鮮でした。空港について最初にびっくりしたのは日本のトイレは男性が青、女性が赤で示されるのに対し、中国のトイレは男性が緑、女性がピンクで示されていたことです。日本との文化の違いを感じました。

この海外研修で特に思い出に残っているのは学校訪問とホストファミリーとの交流です。２日目は南京田家炳高級中学を訪れ、日本語を学び、日本に興味がある学生たちと交流しました。彼らの日本語はとても上手で、大変驚きました。私は英語ですら苦戦しているのに、彼らは英語よりも難しい日本語を勉強して、ペラペラに喋れているのがすごいと思いました。私も彼らに負けていられない！このとき、私は姉のように英語と中国語がペラペラに喋れるように勉強しようと強く思いました。３日目は宿遷高級中学を訪れ、私を受け入れてくれるホームステイ先の高校生、肖君と出会いました。彼はとても優しく、一緒に行動しているときはずっと私のことを気にかけてくれました。私が熱中症で倒れてしまった時もずっと私のそばにいて心配してくれました。４日目は馬陵高級中学を訪れ、学校を散策しました。中国の高校はどの学校も規模が大きく、大学みたいだなと思いました。この３日間でたくさんの中国の高校生と友達になり、連絡先を交換しました。これからもずっと彼らと連絡を取り合おうと思いました。

４日目にホストファミリーとの交流をしました。肖君と彼の友達と３人でバトミントンをしたり、一緒にご飯を食べたり、ゲームセンターに行ったりしました。肖君や彼のお母さんは英語がとても上手で、英語での話が通じた時の喜びは今でも忘れられません。ホームステイができなかったこともあり、彼らと過ごす時間は少なかったけど、たくさんの思い出を作ることができました。

今回の派遣を通して、中国に対するイメージが良いイメージに変わりました。日本人の知らない中国の魅力を沢山見つけることができたので、両親や友達に共有したいと思いました。また、研修で得た学びをこれからの生活に活かしていきたいと思いました。今回の研修に携わったすべての方々に感謝しています。ありがとうございました！

金沢二水高等学校２年　芝山　董子

私の将来の夢は教員になることです。教員という仕事は多様な視点を持つことが必要だと思います。以前までは、学校で習う歴史の授業やニュースで見る国際的な情報に対しての捉え方がすごく一方的でした。双方の考え方を知ることで、物事は違った捉え方をすることができます。だから私は、日本以外の人々の価値観や考え方を現地の人との交流を通して学び、多様な視点を持ちたいと思い中国派遣に応募しました。

中国に行く前は、楽しみというより不安のほうが大きかったです。特に普段使用しているアプリは使えないと言われたことで、海外という壁を感じました。しかし、実際に行ってみるとネット環境に問題はなく、中国人の優しさや気遣いのおかげで抱いていた不安は全くなくなりました。例えば、バディと一緒にショッピングにいったときに

は、「私があなたのボディーガードだよ」と言って日本よりも遥かに多い自動車・バイクから私を守ってくれました。また、私の知らないうちに飲み物を用意してくれているなどたくさんの優しさを感じました。今回はホストファミリーの家での宿泊ができず残念に思っていました。しかし、ファミリーと過ごした２日間ですごく貴重な経験をすることができました。

そして、中国は日本と似ている部分もあれば大きく異なる部分もありました。まず飲み水が常温であるということです。私が中国に滞在していた時の気温は40度前後でしたが、常温の水を渡されたときは夏でも冷たい飲み物を飲まないことにすごく驚きました。他には、トイレでは紙を流せないことや、出された食事は残すのが礼儀であることなど、些細なことから文化の違いを多く感じました。

私が一番楽しみにしていた学校訪問では、規模と学習量の違いに驚きました。まず、門をくぐると約10階建ての校舎が11棟並んでいました。とても圧倒されたのに加え、校内に放送局や飲食店のようなランチルームがあったことには日本との規模の違いを感じさせられました。また、生徒の話によると朝は６：30に登校し、７時間授業を受けるそうです。それから各自自習をし、下校は22：00になるそうです。学習量の違いは勿論、英語力は中国の生徒の方が圧倒的に上で、日本で英語の授業を10年以上受けている自分の無力さを感じました。

中国は大きく、人口も多い国で私が見たのはほんの一部かもしれません。実際に自分の目で見て体験することで、中国がもっと好きになったし、日本の良さを改めて感じた日々でした。一週間という短い期間だったけれど一日一日がすごく濃くて大きな刺激を受けました。今回、高校生の私が受けた中国への良い印象を日本でも積極的に発信していこうと思います。また、今の時代は他国とのコミュニケーションも容易にとれるので、友達になった中国の生徒との交流を今後も続けていきたいです。

中国での６日間は、言葉が通じなくても伝えようとする気持ち、理解しようとする気持ちがあれば心が通じるということを教えてくれました。またこのような機会があればもっと多くの国を訪れ、たくさんの価値観に触れて自分の経験を増やしたいです。今回の研修に関わってくださったすべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これらの経験はわたしの人生の大きな一歩となると思います。

小松大谷高校１年　庄田　琉莉

私はこの21世紀少年の翼に参加する前は中国へ行ったことが無く、行く前は正直良い印象がありませんでした。ですが、６日間中国に行って色んなことを体験し、優しい現地の方と交流していく中でそのイメージは覆されました。そして、実際に行ったことで日本と中国の風習や文化、生活様式の違いが知れました。

私はまず中国について印象に残ったことは人がとても多いという事です。中国は人が多いと存じてはいましたが、ホテルの移動中にバスの窓を覗くと交差点に数えきれないほどたくさんの車とバイクが行きかっており、とても大きな渋滞が出来ていました。中国では見慣れた光景だと思いますが、最初に見たときはあまりの人の多さに驚愕しました。

私が特に思い出に残っていることは高校訪問と現地の生徒との交流で、中国の高校は日本の大学と同じ程の大きさで、最初に見たときは度肝を抜かれました。校庭には大きな鐘や池、モニュメントなどがあり、中には宇宙関係や学校の歴史についての展示があり、まるで博物館のようだという印象を受けました。校内の壁にはたくさんの文章が書いてあったり、ガラスのない窓が廊下にあったりしました。そして生徒達と対面し、話していく中で驚いたのは、制服がズボンであることでした。日本では女子は主に制服でスカートを着用することが多いが、中国の生徒たちは男女で一緒のズボンの制服を着用していました。他にも生徒達と話していく中で、学校が10時まであるということや、通学は親の車で送迎してもらうことが主流である、文化祭では生徒で模擬店を運営するという事が無いという事を知れました。さらにジェスチャーゲームでも、虎のジェスチャーが日本では「ガオー！」と威嚇するようなポーズをとると思いますが、中国の学生さんは指を額にあてて虎の柄を表現していました。大きなものから細かいものまで様々な違いがありましたが、どれも興味深くてもっと違いを知りたいと思いました。

ホストファミリーとの交流では一緒に餃子を作りました。日本では餃子を包む時、ひだを作りながら皮をとじますが、中国ではひだを作らずに皮同士を強く押し付けて閉じていました。私も中国式の包み方を真似て作ってみましたが最初は中々上手くできませんでした。ですが、ホストファミリーの方に「個性的な形だね！」と褒められ、とても嬉しかったです。

このような経験を経たことにより、私の中国のマイナスの固定概念は覆され、今ではもう一度中国に行きたいぐらい中国が好きになりました。この感情と思い出はこの研修

に参加したからこそ得ることが出来たと感じています。引率してくださった県庁職員の方々や私を受け入れてくれたホストファミリーの方々、そして一緒に中国へ行った団員のみなさん、とても楽しい時間を共にできたことを光栄に思います。この思い出は一生忘れられない宝物になりました。ありがとう！

小松高等学校２年　中川　銘崇

実は僕は中国に行く前は全く中国に興味がなかった。もっと言えば、中国に対して正直あまりいいイメージがなかった。この少年の翼に応募したのも中国に行きたかったわけではなく、ただ単純に安く海外に行きたかったからだった。そんな自分だったのでろくに中国について調べずに中国に行くことになった。中国にいざ行ってみると、僕は自分の予想をいい意味でたくさん裏切られることになった。

まず、着いてバスに乗りながら上海の風景を眺めて驚いたのは、街の豪華さだった。高い建物がものすごく広い範囲にたくさん建っている景色に圧倒された。行く前は中国の都会も日本の都会とそれほど変わらないだろうと勝手に思っていたが、実際はもっともっと大きくとても栄えていた。僕は日本は世界でもトップに栄えていると思っていたけど、中国に日本は負けている気がした。

次に驚いたことは中国人の愛国心の凄さだ。特に中山陵に行った時に感じた。中山陵は中国の革命家であり政治家でもある中国国民党を創設した孫文のお墓で、約400段もの階段の頂上にある。夏真っ只中でとても暑かったのにも関わらずたくさんの様々な年齢の中国人が観光に来ていて、中国人の自国の歴史を大切にする姿勢に驚かされた。また、学校に行った時にも中国人の愛国心の凄さに驚かされた出来事があった。それは全ての教室に中国の国旗が飾ってあったことだ。これは愛国心の表れというより愛国心を育むための教育かもしれないが、とにかく中国という国の一体感を感じた。

中国に行って最も驚いたことは人の温かさだ。僕のホストファミリーはとても温かく僕を迎え入れてくれた。僕のペアは同い年の男の子で身長がとても高い子だった。その子はとても英語がうまく、最初はお互い緊張していたがどんどん打ち解けてたくさん英語で話したりした。彼は僕のことをたくさん気遣ってくれて自分から中国の様々なことを教えてくれた。また、僕が街をたくさん回ってみたいと言うと快くオッケーしてくれて、Eバイクで市場やショッピングモールなどたくさんのところに連れて行ってくれた。彼の母親も英語は話せなかったけれど、ものすごい量の中国料理を作ってくれたり色々と気を遣ってくれたりした。僕は中国に行く前はもっと中国の人は怖い人たちかと思っていたけれど、実際は想像と違い、とてもとても温かい人たちだった。

中国に行って僕はとても中国が大好きになった。また、想像や知識で終わらず実際にいってみることの重要性をとても感じた。この経験を活かし、生きているうちに色々な所に行き実際に様々な経験したいと思った。成長したらまた中国に行きたい。

金沢錦丘高等学校２年　別所　　凛

実際に中国を訪れてみると、事前に抱いていたイメージとは違ってたくさん良いところがいっぱいありました。中国について一番最初に思ったことは気温が高いことです。日中はいつも40℃近くあり、朝も夜も体感気温は35℃くらいありました。日本の暑さで熱中症になりそうなのに中国の人たちは毎日気温が高い日々なのに元気ですごいと思いました。外にいる人は子どもも大人も性別問わず日焼け対策をしていました。日本は日焼け止めや日傘で対策をしている人が多いですが中国はサンバイザーに顔まで隠れる日焼け防止服を着ていて徹底ぶりがすごかったです。

今回、３校学校訪問をしました。どの学校も高校とは思えないくらいの校舎の大きさで感動したのを覚えています。建物の数も10個以上あって自分が生徒だったら道に迷いそうなくらいとても大きかったです。建物の中に入ると入口にピアノがあったり、校舎の建築模型がありました。また、廊下の壁には偉人や大統領の紹介があって自国への愛情を深く感じました。食堂のご飯も食べました。お肉料理がピリ辛で美味しかったです。学校訪問で驚いたことは学生の勉強量です。教室に入ると机の下、椅子の下までたくさんの教科書やプリントがおいてありました。さらに学校が終わったら塾に行って夜遅くまで勉強をするのが当たり前と知り、中国の学生に比べて自分がどれほど努力を怠っていたかに気づき、彼らのひたむきな姿勢を心から尊敬しました。確かに母国語は中国語なのに英語がペラペラで驚きました。自分も負けないように英語の勉強を頑張ろうと思いました。

ホストファミリーとの交流はとても貴重な経験になりました。ホストファミリーの子とショッピングをしに行きました。コスメを見たり中国のお菓子を買いました。夜ご飯は家族で中華料理を食べに行きました。お店の料理はどれも酸味が強い料理

だったけど美味しかったです。その後はホストファミリーの新居に連れて行ってくれました。部屋から夜でもにぎやかな町並みが見えてとてもきれいでした。こんなにきれいな景色が見えるところに住めて羨ましいです。ホストファミリーの子と別れる前に「私が日本に行ったらガイドしてね」と言ってくれたのでいつかその願いを実現させたいと思いました。ホストファミリーは私にとても優しく接してくださり、そのおかげでとても居心地の良い時間を過ごすことができました。ホームステイはできなかったけどホームステイ以上の素敵な経験をさせてくれたホストファミリーに感謝しかありません。

実際に行くと私が想像していた何倍もいいところがたくさんあってワクワクが止まらない５泊６日でした。このワクワクがあったのは中国の方々がとても明るくて優しく接してくれたからだと思います。私も常に他者に優しく接することができる人でありたいと思いました。私の周りには中国にあまりいい印象を持っていない人がいると思います。この派遣で得た経験を活かして中国の良さを発信していきたいです。今回の派遣で友達を作ることができ、この関係を大人になっても続けていきたいしまた会って交流したいです。今回の派遣で色々な面から自分を見つめ直すきっかけとなりました。まずは自分の目で確かめ、行動することを頑張っていきたいです。この素晴らしい経験をさせていただきありがとうございました。

七尾高等学校２年　森永　崇義

中国訪問を通して、海外は近く、海外に対して偏見が凄いと感じました。

今回の中国派遣で自分の海外と日本の差も多く発見出来ました。海外でも英語が使えたらオッケーではない、トイレのために席を立ったら同行者が場所とりをするのは当たり前、日本は小さい。これらは中国派遣を通して特に感じたことです。中国は川や陸地、都市、学校が大きかったです。

３時間未満のフライトでたどり着くフライトは、家から金沢までの往復より短く飛行機は早いと再認識しました。中国国内でも言語、バイク用の道、自然の多さ、食べ物の量、味ぐらいしか差を感じませんでした。中国の学生さん達も日本人学生と同じように勉強し、本を読み、物事を考えていました。社会科で言われる世界のグローバル化を直接感じられたので嬉しかったです。

英語の勉強は日本で言う英語コミュニケーションの教科書のみを使うような形で驚きました。張君に論理表現（文法）の授業がないのかと聞いたらS.V.O.Cのページを開いてくれました。それ以外には教科書の後ろの方にのっているのみで、日本と比べて基礎を多くやっている印象を受けました。中国で使った英語は現在形の肯定文や単語ばかりだったので、世界的に見ると英語圏以外ではその程度でいいのかも知れないとそのときは感じました。英語を日常で使わない人と交流するときは、まず肯定文で述べてその反応を見ながら後の対応を考えて行けばよいのかなと思います。ジェスチャーは中国と日本で異なっていて、３通りぐらいのジェスチャーを考えて置けば大抵は通じるという印象です。日常的に使う動作のジェスチャーはカバー出来るようになりたいです。

帰国して英語をあまり使えなかったので、関西国際空港で英語を喋っている人の英語を聞き取ろうとしてみたけど無理でした。単語ですら１割聞き取れてない状態なのでこれからはハリスさんなどの英語圏要人のニュースを英語のまま聞いて行きたいです。

# 研修を振り返って　管理員から

今回、コロナ禍を経て、５年ぶりの中国派遣となりました。集まった12名の団員は、中国への関心の濃淡こそあれ、海外を自分の目で見てみたいという意欲や好奇心は十分でした。

応募申込書に書かれた交流への意欲を読み、彼らの熱意をぜひ中国側へ伝えなければという思いで調整を進めました。その熱意を丸ごと受け止めていただき出来上がったのが、そのほぼ全てを網羅するような、完璧かつハードなスケジュールです。

団員たちは、移動日を除く実質４日間の間に、３つの高校を訪問し、試行錯誤しながら同年代の学生と友情を育みました。期待と緊張が綯い交ぜになったホストファミリーとの交流を終えたあと、ホテルに戻ってからも、仲間のエピソードに誘われるように次々と思い出を語る彼らはとても眩しく見えました。

中国で生きる方々との出会い、そして団員同士の出会いは、日中双方が誇りを持って守ってきた文化という大きなレンズ、家族・友達との付き合い方という世界共通の身近なレンズの両方で、自分が今いる環境を見つめる機会を与えてくれたのではないかと思います。

一期一会は、「一生に一度しかない出会い」という意味で、多くは旅に関連付けて語られますが、そこには「その一回に誠意を尽くして臨むこと」という教訓も込められています。なかなか出会えない人に出会うという喜びや興奮、それは海外などの非日常空間に身を置いたときに感じる人が多いかもしれません。しかしながら、旅先で出会う人、普段の何気ない生活で出会う人、それぞれが自分と同じように日々を慈しみ暮らしている。場所を問わずそういう人々に共感し、思いを寄せることが、国際交流の土壌となっていくのではないでしょうか。そうして得られた縁を繋いでいくことは、大変な労力を必要とする一方、出会うこと以上の重みがあると思います。

小さな違いに目くじらを立てるのではなく、その違いを新鮮なものとして受け止め、驚き、なぜ違うのかを考え、お互いのやり方を紹介しあう。こうしたふるまいを団員たちが自然におこなっていたことに頼もしさを感じます。好奇心を味方に様々な知識を蓄えること、そして、自ら行動してその答え合わせをしていくことにやりがいや楽しみを見い出し続けたいと、私自身にもそう思わせてくれる旅になりました。

最後に、団員の皆さんがこの夏中国に向けて踏み出した一歩を、さらなるチャレンジにつなげていってくれることを願っています。

今回の派遣に際し、きめ細やかな準備と熱烈な歓迎で唯一無二の交流を作り上げていただいた江蘇省、宿遷市、訪問校の皆様、生徒たちの交流を強力にサポートしてくださったホストファミリーの皆様、また団員を温かく送り出してくださった保護者の皆様に心から感謝申し上げます。

石川県文化観光スポーツ部国際交流課
主任主事　大澤　和佳

# 色紙よせがき

私は中国語がほとんど話せないけど、みなさんやさしく接してくれたので嬉しかったです。今から中国語の勉強を頑張ってまた中国に訪れたいです。
池田 彩乃
私は中国に行く時は少し不安だったけど、実際に行ってみて、沢山の人と交流できて、中国が大好きになりました！
中国には行ってみないとわからない魅力がたくさんあるので、今回の経験をたくさんの人に話して中国の魅力を沢山の人に知ってほしいと思いました。また中国に行って中国語で会話したい！
真田 至恩
みなさんのおかげでとても楽しかったです。ありがとうございました。中国のまばらしさを大きく感じ、中国が大好きになりました。大人になったらまた行きたいです。
中川 結菜
実際に中国へ行くと、とても楽しくてワクワクがとまりませんでした。いろいろな経験をさせていただきありがとうございました。人の温かさに触れて、自分も優しい人になりたいと思いました。今回で中国が大好きになりました！また絶対行きます！
別所 凜
今回の中国訪問は初めての海外でとても不安だったけどホストファミリーをはじめみなさんやさしくてまた中国に行きたいと思いました。次行くときはもっとみなさんと話して中国への理解を深めていきたいです
森永 崇義
少年の夢
初めての中国は私の大切な思い出になりました。中国の学生たちとたくさん交流できて楽しかったです！次、中国に行った時は中国語を話せるように頑張ります!!
大矢 真子
中国は私の初海外の国であったこともあり、私にとってとても特別な思い出です。これからも努力を重ねて、次訪れた時に自由自在に会話をできるよう勉強を頑張ります！私もまた必ず中国に行くのでこれからも沢山メールなどで交流しましょう！
齋藤 真凜
初めての中国で緊張もしたけど、貴重な経験や、たくさんの人と交流することができてとても楽しかったです。すてきな思い出がたくさんできました！中国語が全然できない私にも優しく接してくれて嬉しかったです。次は中国語でも会話できるよう頑張るのでまた会いましょう！
岡崎 有香
6日間という短い期間だったけれど、全てが初めての体験で大きな刺激を受けました。日本にいては知ることができない中国の魅力もたくさん感じることができました。中国のお友達とはこれからも交流を続けたいです
楽しい思い出をありがとう!! 謝謝!
芝山 董子
私は始めて中国に行きましたがもう1度行きたい！と思える程中国での経験が楽しかったです！またみんなと会いたいです。頑張って中国語を勉強して、絶対にまた中国に行こうと思います。また会えた時は楽しくしゃべりましょう！ありがとう！
謝謝！
庄田 琉莉
中国に行く前は分からないことばかりで不安ばかりでした。でも実際に行ってみると優しい人ばかりでとても安心しました。楽しいことばかりで最高でした。また中国に行きたいです！
北門 琴好
中国の方々と、中国語で実際に会話ができたことがとても印象的でした。派遣の中で出会った沢山の人々の温かさは、拙い中国語でも翻訳機を介さずに話せたから感じられたものだったと思います。これから一層中国語を勉強して再び中国へ行きたいです！
近藤 琉

# 令和６年度
# 「21世紀石川少年の翼」（中国・江蘇省派遣）日程

| | 月　日 | 都市名 | 時　間 | 交通機関 | 日　　程 | 宿　泊　先 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1日目 | 8月1日（木） | 小　松<br><br><br>上　海 | 11：15<br>12：00<br>14：30<br>16：30<br>夕　方 | <br><br>MU558<br><br>貸切バス | 小松空港集合<br>結団式<br>小松空港発<br>上海浦東空港着<br>南京へ移動 | <br><br><br>ソフィテル<br>ギャラクシー南京 |
| 2日目 | 8月2日（金） | 南　京 | 9：00<br>14：00<br>16：00 | 貸切バス | 南京田家炳高級中学訪問<br>江蘇省文化創意成果展示センター<br>江蘇省友好団体交流大会 | <br>ソフィテル<br>ギャラクシー南京 |
| 3日目 | 8月3日（土） | 南　京<br><br>宿　遷 | 9：00<br><br>13：15<br>16：15<br>20：30 | 貸切バス | 中山陵<br>宿遷へ移動<br>宿遷高級中学訪問<br>ホストファミリーと交流・夕食<br>中国茶文化体験 | <br><br>スター<br>インターナショナル<br>ホテル宿遷 |
| 4日目 | 8月4日（日） | 宿　遷 | 8：45<br>14：30<br>15：30 | 貸切バス | 馬陵高級中学訪問<br>項王故里<br>ホームステイ先へ<br>ホストファミリーと交流・夕食 | <br>スター<br>インターナショナル<br>ホテル宿遷 |
| 5日目 | 8月5日（月） | 宿　遷<br><br><br>上　海 | 9：00<br>13：26<br><br>17：30 | 貸切バス<br>高速鉄道<br>G8277 | 皂河龍運城<br>上海へ移動<br><br>上海市内視察 | <br><br><br>上海大衆空港ホテル |
| 6日目 | 8月6日（火） | 上　海<br><br>大　阪<br><br>金　沢 | 5：40<br>8：55<br>12：10<br>13：15<br>18：30 | 徒歩<br>MU225<br><br>貸切バス | ホテル発<br>上海浦東空港発<br>関西国際空港着<br>金沢へ移動<br>金沢駅着　解団 | |

# 令和６年度
# 21世紀石川少年の翼派遣団（中国・江蘇省）名簿

**管　理　員**

| NO. | 区　　分 | 氏　　名 | 所　　属 |
|---|---|---|---|
| 1 | 団　長 | 沖　野　真奈美 | 石川県文化観光スポーツ部<br>国際交流課長 |
| 2 | 指導員 | 向　　哲　宏 | 教育委員会学校指導課<br>指導主事 |
| 3 | 指導員 | 大　澤　和　佳 | 文化観光スポーツ部国際交流課<br>主任主事 |

**団　　員**

| NO. | 学　　校 | 氏　　名 | 学　年 |
|---|---|---|---|
| 1 | 金沢泉丘高等学校 | 池　田　彩　乃 | ２年 |
| 2 | 大聖寺高等学校 | 大　矢　真　子 | ２年 |
| 3 | 金沢二水高等学校 | 岡　﨑　有　香 | １年 |
| 4 | 金沢泉丘高等学校 | 川　崎　正　照 | １年 |
| 5 | 北陸学院高等学校 | 北　間　莉　子 | ２年 |
| 6 | 金沢大学附属高等学校 | 齋　藤　真　凛 | ２年 |
| 7 | 金沢泉丘高等学校 | 真　田　至　恩 | １年 |
| 8 | 金沢二水高等学校 | 芝　山　董　子 | ２年 |
| 9 | 小松大谷高等学校 | 庄　田　琉　莉 | １年 |
| 10 | 小　松　高　等　学　校 | 中　川　銘　崇 | ２年 |
| 11 | 金沢錦丘高等学校 | 別　所　　凛 | ２年 |
| 12 | 七　尾　高　等　学　校 | 森　永　崇　義 | ２年 |

# 韓国・全北特別自治道青少年交流事業（受入）

期間：令和６年７月26日(金)～31日(水)

**韓国・全北特別自治道の豆知識**

◎位　置
朝鮮半島南西部に位置し、ソウルから約240kmの距離

◎面　積
面積は8,067km²

◎人　口
約174万人

◎地方行政区域
6市、8郡

◎道庁所在地
全州(チョンジュ)市

◎全北特別自治道ホームページ
www.jeonbuk.go.kr/jpn/index.jeonbuk（日本語）

*Jeonbuk State Korea~*

*~Ishikawa Japan*

# 交流の思い出

知事表敬

知事表敬

知事表敬

学校訪問（津幡南中学校）

学校訪問（津幡南中学校）

学校訪問（津幡南中学校）

学校訪問（津幡南中学校）

学校訪問（津幡南中学校）

学校訪問（津幡南中学校）

金沢港クルーズターミナル

ホストファミリー対面式

金沢港クルーズターミナル

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ

ホームステイ先から集合

ホームステイ先から集合

ホームステイ先から集合

ホームステイ先から集合

ホームステイ先から集合

交流会

交流会

交流会

交流会

兼六園

交流会

金箔体験

金沢城

金箔体験

金箔体験

気多大社

気多大社

関空に到着（高陵中学）

妙成寺

友禅染体験

道の駅のと千里浜

友禅染体験

友禅染体験

綿ヶ滝

化石発掘体験（白山恐竜パーク白峰）

出国

# 訪問を終えて

全州槿暎中学校２年　カン・テイン

１．応募のきっかけと動機

日本という国に行きたいと思ったし、日本の文化や礼儀作法が気になり、興味があったので応募しました。また、私は日本のアニメに興味があります。そして雑貨屋さんが好きなので、日本の雑貨屋さんが気になりました。

２．全体の感想

日本の信号は青信号だと聞いていたのに、緑色だったので少し驚いたし、ショッピングモールのエスカレーターに人が並んで並んで立っていて、本当に不思議でした。ガチャガチャがたくさんあって、お菓子もたくさんあって幸せでした。神社に行きましたが、とても大きくて立派でした。ラーメンを食べましたが、とても美味しかったです。コンビニにフィギュアがあり、新鮮でした。お寺に行きましたが、韓国と似ていました。花火大会を見ましたが、とてもとても綺麗でした。

３．学校交流の感想

学校は韓国と同じような感じでした。制服のスカートがすごく長くて不思議でした。日本人の友達は純粋でかわいくて、恥ずかしがる姿がとても可愛かったです。反応がとても良くて不思議だったし、用意したクイズが少し難しくて少し申し訳なかった。

４．ホームステイの感想

日本は箸を縦ではなく横に置くので、とても不思議でした。家族構成は、母、ひなた、父、猫２匹でした。花火がとても綺麗でした。初対面で買ってくれたトンカツがとても美味しかった。ひなたもZEROBASEONEが好きなので、よく合いました。

５．文化体験について

染色体験は少し難しかったけど、金箔体験は楽しかった。自分が金箔のお皿を持っているなんて、とても感激で幸せです。神社で友達にお守りを買ったので、友達が気に入ってくれたらいいな。

６．宿泊・食事について

宿は快適で、食事も美味しかった。宿で月明中の友達、お姉さんと仲良くなり、たくさんの思い出ができました。ホテルにある温泉には行けませんでしたが、そこにある着物？ のようなものがとてもきれいでした。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

箸を置く位置が違っていて、とても不思議でした。。エスカレーターに人が一列に並んでいるのを見て少し反省しました。

全州槿暎中学校２年　キム・ジュア

１．応募のきっかけと動機

普段から日本に興味があり、直接行って体験や経験をしてみるのもいいなと思い応募してみました。

２．全体の感想

日本語はあまり上手ではありませんが、会話を続けると楽しく、日本の石川県の学校や伝統、文化などを見て知ることができ、楽しかったようです。

３．学校交流の感想

まず、交流会で一緒に交流する友達とダンスを踊りながら楽しさとやりがいを感じ、クイズを当てて準備する過程が本当にやりがいを感じました。日本の学生のプログラムはほとんど真面目な感じがしたようです。日本の学校と韓国の学校の違いを本当にたくさん知ることができた良い時間になりました。

４．ホームステイの感想

家族構成：お父さん、お母さん、交換留学生、小学５年生の妹

アクティビティ：石川県で一番大きなデパート、アミューズメント施設に似た遊園地、伝統的なキーホルダーを作る、自宅でジブリ映画を見る、地元のスーパーに行く、コンビニエンスストアツアー、花火大会

食事：回転寿司、蕎麦とタンタン麺、韓国料理店、うどん

５．文化体験について

金箔体験は、博物館を回って調べて、どのような努力で作られているのか知り、金箔の皿を作るので、より一層楽しく、大切に作ったような気がしました。

染色体験は専門家でない一般人でも簡単にできるのでとても楽しかったし、出来上がりも本当に気に入ったので楽しかったです。そして、周辺にあったカフェのリンゴジュースが美味しかったです。登山をしたのですが、途中にあった滝の説明を聞きながら行くのが楽しかったし、最後まで行った時にジュースを買ってくれてとても嬉しかったです。

６．宿泊・食事について

２人用の宿は、近くにコンビニもあり、温泉もあるので悪くはありませんでした。４人部屋は、ベッドはないのですが、広々としていて、景色がとてもきれいでした。ご飯もビュッフェ式でとても美味しかったです。奥にゲームセンターやカラオケがあり、友達と楽しく遊びました。初日のお弁当のような和食屋さんは、ほとんどの料理が美味しかったです。買い物後に行ったそば屋さんも美味しかったです。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

買い物の時は思ったより静かでした。運転席が右側なので、道路を横断する時は気をつけなければならないと思います。

全州槿暎中学校２年　ユ・ガヨン

１．応募のきっかけと動機

私が全北・石川県交流プログラムに応募した理由は、普段日本の大衆文化を消費する消費者として、その大衆文化の背景となる日本人の生活に興味があったからです。そのため、ホームステイの日程があることに興味を持ちました。また、私はジャンボリーやビデオ交流授業などの青少年交流にも興味があり、他国に住む同年代の子どもたちと対面で交流できることにも大きな興味を持ちました。そして、親元を離れて同年代の子どもたちと海外に行くことで、自立心が高まるという副次的な効果も得られると思いました。

２．全体の感想

交流活動に参加し、日本の大衆文化と青少年文化について直接体験する機会が与えられ、とても有意義でした。特に、日本の学生と直接交流することで、彼らの日常と文化を身近に感じることができました。また、日本と韓国の学生文化には共通点も多いですが、違いも明らかに存在することを実感しました。例えば、日本では青少年は様々なサークル活動を通じて自分を表現しますが、これは韓国の青少年が学業に集中する文化とは少し異なる部分でした。このような違いを通して、お互いの文化をより深く理解することができました。このような違いを通して、お互いの文化をより深く理解することができました。今回の交流活動は、単に異文化を体験することを超えて、お互いの文化を尊重し、理解する方法を学ぶ時間になりました。今後もこのような交流の機会を通じ、日韓両国の青少年がより緊密に交流し、お互いの文化を尊重しながら成長していくことを願っています。今回の経験をもとに、日本の大衆文化や青少年文化への理解をさらに深め、今後、日韓交流にもっともっと参加したいと思います。

３．学校交流の感想

友達と一緒に準備する過程で、私たちはより親密になり、団結することができました。最初は少しぎこちなく、慣れないこともありましたが、準備の過程で自然とお互いの長所と短所を理解し、困難なときに励まし合い、大切な絆を築くことができました。また、日本の学生たちが丁寧に準備してくれたプログラムを見て、とても感動しました。彼らは一つ一つの細部にまで気を配り、プログラムを構成してくれたので、彼らの真心を感じることができました。私たちは彼らの努力を通して、真の歓迎と暖かさを感じることができました。

４．ホームステイの感想

ホームステイをしながら、お祭りや花見を直接体験することができ、とても楽しかったです。普段は体験できない日本の伝統文化やお祭りの生の現場を肌で感じることができ、とても特別な時間でした。特に、お祭りの賑やかな雰囲気と花見の華やかさは忘れられない思い出になりました。また、ホームステイ先の家族と一緒に過ごしている間、言葉は完璧には通じませんでしたが、彼らの温かい思いやりと優しさに感動しました。言葉よりも行動で示してくれた彼らの関心と配慮のおかげで、快適で安全な時間を過ごすことができ、その真心を感じることができ、本当にありがとうございました。

５．文化体験について

石川県への訪問は、日本の伝統文化を直接体験し、理解する貴重な機会でした。特に金箔体験と染色体験は、深い印象を残しました。金箔は細やかな作業が必要な繊細な芸術ですが、金色に輝く薄い金箔を扱うことで、日本の職人の心意気と粘り強さを深く考えさせられました。染色体験は、また違った形で日本の伝統を感じることができる時間でした。布を染める過程で色を選び、それぞれ違う模様を作るのが楽しく、自分だけの個性が込められた作品が出来上がるのを見て、大きな満足感を感じました。

６．宿泊・食事について

最初の宿は少し狭かったのですが、二人だけで使えるので、居心地がよく、親しくなることができたと思います。二軒目の宿は広くて伝統的な雰囲気があり、静かで良かったです。そして、浴衣を貸してくれるので、着てみる体験は新鮮でした。食事はできるだけ現地化して提供してくれるので、文化体験にとても役立ちました（でも、どれもとても美味しかったです）。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

天気が思ったより暑く、大きな建物が多くないので空がきれいで、家の形が少しずつ違っていて、ミニチュアのようで可愛かったです。

全州槿暎中学校２年　キム・ギョンヒョン

１．応募のきっかけと動機

以前から他の国と交流することをやってみたいと思っていたのですが、うちの学校でもそういうことをやっていると聞いて、だんだん興味を持ち始めました。

だんだん興味が湧いてきました。それで調べていたところ、運良く学校の先生から提案があり幸運にも私に提案をいただき、このような機会は今しかないと思い、すぐに参加することにしました。ということで、この石川県交流プログラムに参加することになりました。

２．全体の感想

初めて他国の学校と交流してみたのですが、ホームステイをしながらも日本の家の構造や伝統、食べ物など多くのことを感じることができました。

また、ホームステイが終わった後も、日本の様々な建物やその他のものを鑑賞することができ、日本の多くの食べ物や様々な場所などを知ることができました。また、他の学校の友達とも仲良くなれたので、とても良い思い出になりました。もしまたこのような機会があれば、ぜひまたやってみたいと思います。

３．学校交流の感想

ダンスを披露するためにダンスの練習をしたのですが、普段はダンスもうまくできずダンスがあまり好きではないので大変でしたが、楽しかったです。日本の学校では、自分たちの学校の紹介や学校のお祭りなどを紹介しました。また、私たちもクイズを準備し、日本学校の友達ととても楽しい時間を過ごすことができました。とても良い時間を過ごすことができたと思います。また、日本の学校の友達と交流するのがぎこちないこともありましたが、友達がよく迎えてくれて、接してくれたので、楽しかったです。

４．ホームステイの感想

まず、ホームステイの家族は６人（両親、妹、弟、祖母、おばあちゃん、ホームステイの友達）でした。蕎麦打ち体験、江戸時代の家屋訪問、博物館など、いろいろな場所を訪れました。

特にそば打ち体験は簡単なものかと思いきや、自分で生地を練り、麺を作り、茹で、自分で作って食べるというもので、それもとても良い経験になりました。食事はカツ丼の他、様々な日本の朝食や刺身などを食べましたが、韓国で食べたカツ丼とは次元が違うくらいとても美味しかったです。特に味噌汁は韓国で食べた味噌汁とはとても違うと感じました。味噌汁というより、他のスープのような感じだった。

５．文化体験について

金箔体験は、実際に金箔を圧縮して作っていることを初めて知りましたし、それぞれ用途によって違うということも知りました。そこで売られている食用金箔を乗せたアイスクリームも食べてみたのですが、食用金箔は特に味はないのですが、それでも何か金が入っているようで、より美味しく感じられたような気がします。家に食用金箔が少しあるので、後でそれで何か作って食べてみたい気もします。染色体験は水に浸して染めるものだと思っていましたが、絵の具を使って染めるのを見てとても不思議でした。また、滝を訪れた時は雨が多くて危険でしたが、こんなに大きな滝を間近で見るのは初めてだったので驚きました。化石で有名なところに行って化石を見たり、直接植物の化石を発見するのもとても楽しかったです。石川県庁に行き、県知事さんに会えたのもとても良かったです。

６．宿泊・食事について

宿は前にコンビニもあり、温泉もあり、衛生面もしっかりしているようでとても良かったです。

特に１軒目の宿は温泉がシンプルだったのですが、２軒目の宿は私が思っていた温泉のようでとても良かったです。とても良かったし、特に外湯があり、そこも海を見ながら温泉を入れるのでとても良かったです。最後の宿は４人で寝たので、さらに楽しかったし、夜遅くまで遊んで寝たのですが、久しぶりに友達とそうやって遊んだようで、またとても楽しかったです。

また、宿にビリヤード場、卓球場などの設備があり、とても良かったと思います。また、最後の宿の夕食が一番美味しかったです。朝食もとても美味しく、昼食、夕食もとても美味しかったです。中でもラーメン、お好み焼きが記憶に残っています。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

日本での生活は思ったより楽しかった。文化の違いとして一番感じたのは、車の運転席が右側にあることと、ご飯を別々に食べることです。また、アパートがなく、全て住宅なので、少しぎこちない感じもあり、水の味が違うので慣れないこともありました。安全上の注意点は、夜に一人でどこかに出歩かない、誰にも声をかけない、宿舎で危険な遊びをしないなどです。宿舎で危険ないたずらをしないなどがあるようです。

全州槿暎中学校２年　アン・ゴンフ

１．応募のきっかけと動機

私は普段から日本文化に興味があり、全北・石川県交流プログラムに興味を持ちました。日本の伝統と現代文化を直接体験してみたかったし、石川県がどんなところなのか知りたかったからです。また、日本語を家で少し練習していたので、現地で直接言語を使う機会を持ちたいと思いました。また、今回のプログラムを通して新しい人に会いたかったからです。

２．全体の感想

今回の全北・石川県交流活動を通して多くのことを学ぶことができました。最初は慣れない環境に少し緊張しましたが、時間が経つにつれて現地の人々との交流が楽しくなり、日本の文化を直接体験することができ、とても有意義でした。特に、石川県の伝統的な芸術や食べ物を体験することで、彼らの文化への理解が深まりました。また、異なる文化を持つ友達と一緒に過ごすことで、お互いの違いを尊重し、学ぶことができました。この活動を通して、両国の関係がより緊密になることを実感し、今後もこのような交流が継続されることを願っています。これからも国際的な交流に積極的に参加し、より広い世界を経験していきたいです。

３．学校交流の感想

私たちはダンスとクイズを準備することになり、ダンスは休み中に別々に会うことにして、休み明けに集まって練習しました。クイズは私たち同士で話し合って作りましたし、ダンスの練習をすることで友達とも仲良くなれたと思います。日本に行ってダンスを踊るとき、間違えたりして友達に申し訳なかったです。日本の友達は自分の学校の校歌を歌ってくれて、歌詞が書かれた紙までくれました。その歌は本当に良かったです。

４．ホームステイの感想

ホームステイでは、本当に温かい日本の家族に出会うことができました。家族は両親と中学生の友達、そして子犬でした。最初はとてもぎこちなかったのですが、家族がとても親切に接してくれたので、すぐに打ち解けてたくさんの話をすることができました。日本の伝統的な食べ物を作ってくれてありがとうございました。特に、お母さんが作ってくれたおにぎりは本当に美味しかったです。私も韓国の食べ物を教えてくれて、家族にとても感謝していました。

夕食後は、家族と一緒に花火を見ながら楽しい時間を過ごしました。友達とは任天堂やプレイステーションをしながら仲良くなり、日本語もたくさん学びました。おかげで日本語も少し自然に話せるようになりました。このホームステイ体験のおかげで、日本の文化をより深く理解することができ、良い思い出をたくさん作ることができました。

５．文化体験について

今回の石川県訪問では、様々な文化体験をすることができ、とても良かったです。まず、金箔体験をしましたが、薄い金箔を使ってきれいな作品を作る過程が不思議で楽しかったです。自分で作った作品を持ち帰ることができ、良い思い出になりました。染め物体験では、伝統的な方法で布を染める過程を学びました。それぞれの色で布が染まるのを見て、日本の伝統工芸の美しさを感じました。染色体験もしましたが、伝統的な方法で布を染める過程を学びました。布が様々な色に染まっていく様子を見て、日本の伝統工芸の美しさを感じることができました。石川県の様々な観光地も訪れましたが、特に兼六園という庭園が記憶に残っています。美しい庭園の中で日本の自然美を満喫することができ、日本の伝統的な庭園文化についてより深く理解することができました。今回の文化体験は、日本の文化を直接体験することができ、とても貴重な時間でした。

６．宿泊・食事について

宿は問題なく、食事はとても良かったです。食事はとても綺麗で衛生的で、もちろん味も良かったです。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

現地での生活は、道が本当にきれいなことに驚きました。公共の場所にゴミを捨てないようにすれば、韓国ももっときれいになると思いました。日本人は礼儀作法を本当によく守っていると思いました。また、駐車場の間隔が韓国より広くて、ドアを開けるときに隣の車を撮らないで済みました。このようなことは韓国も習ってほしいと思います。

群山月明中学校２年　キム・ガヒョン

１．応募のきっかけと動機

申し込む前はあまり興味がなかったのですが、日本文化にも興味があり、以前から日本という国に興味があり、日本のアニメも好きだったので、この機会に日本文化に一歩近づいてみようという思いで申し込むことになり、この機会に初めての海外旅行に行って良かったです。次にこのようなプログラムがあったらまた応募してみたいし、日本をもう一度行ってみたいです。

２．全体の感想

日本という島国に行き、様々な体験をし、初めての体験もあれば、経験したことのある体験もありました。日本はとても広いと感じました。行っても行っても終わりがなく、海？のような湖？のようなものが見え、その向こう側にはまた別の地域がありました。本当にソウルより広かったし、畳というものも習ったし、いくつかの日本語も習ったし、日本人の友達もたくさんできたようで良かった。

３．学校交流の感想

各学校で準備したステージを日本に行って見せないといけないと言われ、密かに学校の生徒たちと一生懸命準備したものを間違えないか心配したり、全部覚えられなかったらどうしようかと思いましたが、幸いにもほとんどの生徒が熱心に参加してくれたので、うまくできました。日本の学生は本当に自信に満ちているように見えました。

先ほど、日本の学校について説明しましたが、本当にかっこよかったです。クイズが終わった後、日本式バドミントン（羽根つき）遊びをしましたが、広いバドミントンコックに似たような木の板でバドミントンのコックに似たようなものを打って遊びましたが、とても難しくて面白かったです。遊びを終えて別れるときは寂しさがありました。バスが出るまでずっと手を振ってくれて、本当にありがとうございました。

４．ホームステイの感想

ホームステイを始める前は、日本語が苦手で、会話がうまくいかなかったらどうしようという心配をたくさんしました。でも幸いにも母が日本語学校の英語の先生をしているとのことで、少しずつ会話が通じるようになりました。ホストファミリーは、父、母、カイリ、リク（弟）、ソラ、ヒ（妹）の６人家族でしたが、カイリはとても面倒見が良く、弟たちも初対面の人に近づくのは難しいと思いますが、親身になって接してくれて本当にありがたかったです。日本のコンビニエンスストア、スーパー、文房具店、ゲームセンター、ボーリング場など、ホームステイをしながら色々なところに行き、美味しいものもたくさん買ってくれてとても楽しかったです。ホームステイで一番たくさん食べたのはうどんでしたが、その中でも油揚げうどんが一番美味しかったです。甘くてあまり塩辛くなくて美味しかったです。ホームステイ最終日にも別れが惜しいくらい良くしてくれて、後で日本旅行に行ったらまた会いたくなるくらい、とても良かったです。

５．文化体験について

実際に金箔を作るところに行ったことがありますが、実際に金箔を作る様子は初めて見ました。金箔なので、一度失敗したら大変なことになりそうな気がしました。お皿に本物の金箔を貼ってお皿を作り、韓国に持ち帰りました。そのお皿は猫のおやつをあげるときに使っています。もう一つの体験は、ハンカチを染める体験で、このハンカチに綿を詰めて、現在は人形を作りました。

６．宿泊・食事について

日本の宿が韓国の宿と違うところはほとんどなかったのですが、最後に行った宿は全く違いました。床が畳（日本の床）で、ベッドや重いものを置くことができませんでした。畳がすごく高いと聞いていたのですが、ネイバーで検索してみるとかなり高くて驚きました。

日本の食べ物は、辛いものはほとんど見かけませんでした。塩辛い食べ物も多かったのですが、塩辛いものが好きなので美味しかったです。日本に行ってラーメンというものも食べてみたし、お好み焼きというものも食べてみた。初めて食べた食べ物だったが、味はあった。日本で辛い食べ物を見つけるのは難しかったが、それでも美味しかった。

７．その他（生活、文化の違いなど）について

日本は韓国と違ってスプーンを使わない。もっぱら箸だけでご飯を食べる。韓国の箸は鉄箸、木箸などがあるが、日本は木箸しか見かけなかった。レストランも同じだ。スプーンはなく、箸しかなく。だからか、不便さもあったが、新しい経験をしたようで面白かった。日本は島だからか、雨が降ると一度にたくさん降ります。だから、日本に行くときは傘や雨具を用意した方がいいですよ。

群山月明中学校２年　キム・テユン

１．応募のきっかけと動機

学校に掲示されたポスターを見て興味を持ち、他の国の文化を体験してみたいと思い、申し込みました。他の国に行き、その国の家庭にホームステイをするというのが面白かったです。そして、他の国に興味を持った時に、このようなプログラムがあったことが、応募したきっかけの一つだと思います。そして、日本に行ってみたいという気持ちもあり、今回のプログラムに申し込みました。日本と韓国の交流が素敵に見えたことも理由です。

２．全体の感想

日本に滞在してホームステイをして、日本の家庭の特徴や韓国との違いや共通点、日本に自転車が多いことや、日本の恐竜が有名だとか、日本の食べ物を食べながら、日本のうどんと韓国のうどんは少し違うとか、日本は納豆という豆？のようなものをご飯に混ぜて食べる文化や、いろい

ろな日本料理を食べながら日本料理の特徴のようなものを知りました。また、日本の神社では日本の神社と韓国のお寺がかなり似ていることや、旅行中、日本の伝統的なかき氷は韓国にスラッシュのような感じがして美味しかったことなど、たくさんの経験をすることができました。

３．学校交流の感想

最初、学校で日本に韓国の文化を伝えることができる簡単な公演を準備するように言われ、いろいろと悩んだ結果、韓国のアイドル、New Jeansが歌うtell meというダンスを日本の学校で公演しようとしました。結局、日本の学校に行ってダンスを踊ることになりましたが、うまく踊れなかったです。しかし、韓国の文化をよく表現する方法だったようです。日本の学校では、日本の学生が準備したプログラムや日本の伝統遊びなど、様々なプログラムを行い、日本の文化をより深く理解できたと思います。踊りを踊りながら、日本に韓国に文化を伝えるということで、誇らしく、日本の学生と日本の伝統遊びをし、友達になったような気がして良かったです。様々なプログラムの中で、最も意味があったと思います。

４．ホームステイの感想

ホームステイ先では、家族も本当によくしてくれて、日本へ行った時に良いところへ連れて行ってくれたり、食事も私は偏食が多いのですが、食事も先に私に聞いてくれて、カツ丼、うどん、ラーメンなどとても美味しい日本食を食べたと思います。花火大会にも行ったり、世界３位以内に入る博物館にも行ったり、色々な楽しい場所に行ったと思います。ホームステイ活動をしていて 家族が私を気にかけてくれていることを感じました。

日本へ行く前にも日本についての心配をたくさんしていましたが、その中にはホームステイに対する不安もありました。しかし、ホームステイ先の家族が私に本当によくしてくれて、親切にしてくれたおかげで、安心して日本過ごすことができたと思います。

５．文化体験について

最初、石川県という初めて聞く場所なので期待が大きかったのですが、予想以上に楽しいプログラムが多く、見所も多く、食べ物もたくさんあり、期待以上でした。特に金箔体験は、金箔を自分の好きな模型に作れるのが魅力的でした。そして、金箔体験館にあった金箔アイスクリームを食べてみましたが、本当に美味しかったし、金沢城というところでは壮大なお城を見ることができました。ホームステイプログラム以外にも、このような楽しいプログラムがたくさんあり、本当に楽しい旅行だったと思います。

６．宿泊・食事について

宿と食事は全体的にとても良かったです。食事は全体的に偏食の私にも美味しいものが多く、宿は快適で居心地の良い良い宿だったと思います。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

現地での生活は確かに簡単な日本語でも暗記しておくと、コミュニケーションにとても便利だと思います。また、日本と韓国は食文化や食事のマナーなど、想像以上に違いがあるので、このような日本文化も知っておくといいと思います。そして、とにかく担当の先生の話をよく聞くことが、安全面では一番大切だと思います。

群山月明中学校３年　チョン・ガウン

１．応募のきっかけと動機

日本語を聞いて見ていると、ある程度できるようになり、日本語に対する親近感が芽生えていました。その時、学校で石川県の日本との交流ができるホームステイプログラムを行うというので、私は当然、日本の文化と日本語に強い関心があったので、迷うことなく応募しました。

昨年、全北に来た石川県の学生たちとのホームステイ生活がとても楽しかったので、翌年の日本でのホームステイが今回楽しみでした。そのため、誰よりも熱意を持って取り組もうという気持ちになり、さらに興味を持ちました。

２．全体の感想

まず、本当に楽しかったです。早朝に出発したおかげで、日本に到着した直後に日本の姿を明るく見ることができましたが、本当に韓国とは違い、あちこちで建物の配置や高さが違うと感じました。道路にもゴミが見当たらず、天気がとても暑いため、日傘を基本的に使っている姿が印象的でした。あちこちで聞こえてくる日本語は、最初はとても聞きなれない言葉で緊張しましたが、その短い時間でも、ホームステイ先の家族や日本人の地元の方がたくさん助けてくれたので、すぐに慣れることができました。石川県の食べ物とその独特の田舎の雰囲気が、全北の田舎と似ている面があると感じ、特に日本のお祭りで、韓国にもこんな感じのお祭りがあったらいいなと思いました。楽しかったです。

３．学校交流の感想

韓国と日本の文化の違いや、その国の有名なものを紹介するようなクイズを用意したのですが、確かに両国は、違うと感じました。教育の違いとか、学校内の様子が違うというのが日本の学校を訪問したときにはっきりと見えて不思議でした。

４．ホームステイの感想

私が訪問した家庭は、５人家族でインコを２羽飼っている家庭でした。初めて対面式をした日、とても緊張していた私をとても優しく迎えてくれたご家族のことを今でも思い出します。やはり言語の違いでコミュニケーションに支障をきたし、会話がスムーズに進まないこともありましたが、私もある程度できるようになり、ホストファミリーも翻訳機をうまく使ってくれて、快適に過ごすことができました。

まず、私と同じ年頃の妹と弟がいましたが、最初は緊張していたようですが、すぐに打ち解け、気軽に会話をしたり、やりたいことを思いっきりして回りました。最初から最後まで気遣いばかりで、少し気まずかったのですが、家に着いた後、韓国と違う家の構造に驚いて見学させてもらったり、インコと仲良くなったり、お祭りに行ったり、食べたいものもたくさん食べました。お祭りで食べた焼きそばとリンゴアメ、チョコバナナ、家庭で食べた冷やし中華と抹茶カフェで食べた抹茶パフェプリンが忘れられないです。気を遣って丁寧に接していただき、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

５．文化体験について

石川県が金箔で有名だと聞いていたので、金箔体験の際、興味を持っていました。金箔を一枚一枚職人技で丁寧に作業している様子が印象的で、全面が金箔で覆われた壁面もとても素敵でした。その金箔で作られた鎧も印象的でした。金箔体験で器を作る時は本当に緊張しましたが、それだけ楽しかったです。金箔を貼る時の手の震えがすごかったです。

そして、染色体験の時は、場所がとてもきれいで驚きました。片側を流れる水と森の中にある和風の伝統的な家屋が印象的でした。私は元々美術をやっていたので、染め体験の時、大した苦労もなく手早くできました。ハンカチを作るのですが、柄がとても魅力的で、そのハンカチは今でもきれいに保存されています。そして、訪れた神社を思い出しましたが、三人の神様に祈りを捧げたのですが、試験運と恋愛運を祈願したのを覚えています。神聖そうで良かったです。訪問地を回ってお土産も買って、良い景色をたくさん見て、暑くて大変でしたが良かったです。

６．宿泊・食事について

２つの宿を利用したのですが、どちらの宿も温泉があって良かったです。設備は全体的に綺麗でしたが、天井が少し低かったので、それは日本旅行ならどこでも考えなければならないことだと思いました。他の友達は分かりませんが、私は背が高いので少し不便な感じがしました。それでもエアコンもちょうどよく、冷蔵庫や電子レンジなどの基本的なものが備え付けられていて、便利に使うことができました。朝食も全て揃っていて、自由に食べられるのが良かったです。美味しかったです。

朝食だけでなく、観光で食べたラーメンやうどんカレーなどの食事も好きなものを食べ放題で満足でした。同じく美味しかったです。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

道にあるものや案内してくれる言葉までが日本語なので、本当に慣れないことばかりで、戸惑いもありましたが、わくわくする気持ちで乗り切ったと思います。個人的には、すべての現地の方が優しく接してくれて、文化の違いが大きく表れた部分としては、言語の違いと、車の運転席の配置が逆であることが不思議でした。

安全上注意しなければならないのは、運転席が逆に配置されているということは、日本の公共交通機関を利用するときに逆に乗らなければならないということなので、その点を重要視すればいいのかなと思いました。

群山月明中学校３年　キム・ヒチャン

１．応募のきっかけと動機

私は普段から日本のアニメ、漫画、音楽、そして自動車に興味があり、このような興味が今回の全北・石川県交流プログラムに参加する主なきっかけとなりました。日本の漫画やアニメによく登場する日本の伝統文化や日常生活は、私に日本に対する深い好奇心を抱かせ、実際に日本でこれらの文化を直接体験してみたいという願望を抱かせました。日本の音楽を通して日本文化の様々な側面を理解し、その現場を直接体験してみたいという気持ちが生まれました。このような様々な理由から、日本の文化や社会についてより深く理解し、直接体験してみたいと思いました。全羅北道・石川県交流プログラムは、このような疑問を解決する絶好の機会だと思い、応募しました。

２．全体の感想

今回の石川県との交流プログラムは、とても有意義で多彩な経験でした。日本の文化や人々について深く理解することができました。ホームステイはこのプログラムの最も重要な部分で、日本の家庭での日常生活を直接体験し、日本人の生活様式や文化を身近に感じることができました。日本の伝統や習慣を自然に学ぶことができ、また、言語を学び、コミュニケーションの機会を持つことができました。様々な日本の家庭料理を体験し、日本の味を深く理解できた点も非常に印象的でした。学校訪問を通じて日本の青少年の学校生活を直接観察し、体験することができ、交流と

コラボレーション活動は、異なる文化的背景を持つ友人との貴重な出会いを提供してくれました。最も楽しかったのはホームステイでした。今回の交流プログラムは、全体的に日本文化に対する幅広い理解を助ける非常に有意義な経験であり、様々な活動を通じて日本の伝統と現代の両方を体験することができた貴重な時間でした。

３．学校交流の感想

日本の学校で全北特別自治道を紹介するために調査をする過程で、私自身も知らなかったことを知ることができました。日本の学校を訪問する前に、基本的な日本語の表現や文法を学習しました。そのため、日本でのコミュニケーションが円滑になり、現地の学生と会話をすることができ、会話をしながら自信を持つことができました。日本の伝統的な遊びを一緒に行いました。バドミントンに似た伝統的な遊びで、汗をかくほど日本の学生ととても楽しかった活動の一つでした。日本の学生が日本の学校を紹介し、日本の中学校と韓国の中学校の違いを知ることができ、日本の学生は暑い中、外で挨拶をしながら待っていてくれ、みんなが親切に接してくれたことに感謝しました。

４．ホームステイの感想

日本人の家族は親切に伝統的な食事や生活習慣を共有してくれ、このような経験は私にとってとても特別なものでした。ホストファミリーのお母様は料理が得意で、毎日丁寧に食事を作ってくれました。

家族は４人家族で、父、母、ヒロキ（次男）、兄（長男）、そしてヒロキの友達が家に遊びに来てくれて、多くの日本人の友達と話すことができました。日本人の友達は日本のゲーム、漫画、音楽、アニメなど多くの趣味を共有して楽しかったし、みんなで地域のお祭りに参加し、日本の伝統的なお祭りの雰囲気を体験しました。日本の食べ物は思ったよりとても合うので、本当に３日間、食事を残さず食べました。

５．文化体験について

金箔体験は、石川県の有名な金箔を直接触って、金箔工芸がどのように行われるのか知ることができ、器に金箔を貼る体験ができ、楽しく、器もきれいにできて良かったです。また、染色体験は、自分で作るのですが、そこで学んだ技法があり、興味深く、不思議でした。石川県の訪問地を探索する機会もありました。石川県の歴史的な遺跡や自然景観を直接見て体験し、地域の文化的背景や歴史について学ぶ貴重な時間でした。特に、有名な兼六園を訪れ、その美しい景色と日本庭園の美しさを感じ、日本の伝統的な建築と自然の調和を直接感じることができました。文化体験は見るだけでなく、実際に体験することができ、思い出に残る経験となりました。

６．宿泊・食事について

宿は、２日くらいは２人で泊まり、１日は４人で泊まりました。良かった点としては、すべての宿に温泉があり、観光日程が終わったら夕方に温泉に行って休むことができたのが良かったです。食事は予想以上に美味しくて驚きました。１日過ごした宿は食事がビュッフェでしたが、ステーキ、パスタ、チキン、たこ焼きなどたくさんの料理があり、バラエティに富んでいました。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

韓国のコンビニとは違ってインスタント食品が多く、韓国のコンビニとはとても違いました。違う点としては、１＋１がなく、価格表を見るときに下にある値段を見なければならず、韓国に比べて従業員が２人以上勤務していました。日本に６日ほど滞在していると、キムチがとても食べたくなり、韓国の食べ物がたくさん思い浮かびました。

日本は夜に閉店する店舗が多く、治安は韓国と似ていると言われますが、８時になっても道はとても暗くて怖いです。日本は韓国に比べて自動販売機がとても多く、暑さを避けるために飲み物をたくさん飲んだ気がします。韓国に比べてとても暑いので、帽子や扇風機などが必要です。日本は韓国に比べると食べ物がとても塩辛いですが、私は普段から塩辛く食べる方なので大丈夫ですが、その点も注意しなければならないと思います。

群山月明中学校３年　チョン・ユジン

１．応募のきっかけと動機

＜文化的関心＞

幼い頃から日本の文化に深い関心を持っていました。日本の伝統的な芸術、食べ物、そして特に石川県の歴史的遺産や自然景観に興味がありました。この文化的関心は、プログラムへの好奇心にもつながりました。

＜異文化への好奇心＞

日本語はあまり得意ではありませんが、新しい文化への強い好奇心がありました。言語が違っても、お互いの文化を理解し、交流する過程で学ぶことがたくさんあると思いました。石川県で直接日本の文化を体験し、彼らの生活様式や価値観を理解したいと思いました。

＜国際的な視野を広げる＞

全北・石川県交流プログラムは、単なる旅行ではなく、両地域間の深い理解と友好を深めるプログラムという点で興味を惹かれました。グローバル社会において、多様な文化や視野を広げることは重要な財産になると考え、応募しました。

＜個人的な成長＞

新しい環境での挑戦は、常に自分自身を成長させる機会でした。異地での生活を通して自分をより強くし、様々な経験を積むことで個人的にも成長したいという思いがありました。

２．全体の感想

全北・石川県交流プログラムに参加し、短い期間でしたが、本当に多くのことを学ぶことができました。まず、日本の文化や生活様式を間近で体験できたことがとても印象的でした。石川県の伝統と現代が調和している様子を見て、日本社会の奥深さを理解することができました。

交流活動を通して、現地の人々と交流し、言語や文化の壁を越えてお互いを理解することを学びました。日本語は不十分でしたが、相手の思いやりと優しさのおかげでコミュニケーションができ、その過程で真の文化交流ができたと感じました。

また、様々な歴史的な場所や自然景観を訪れ、日本文化への理解を深めることができました。現地の学生との交流を通して、日常生活の中で小さな違いを発見し、彼らが大切にしている価値観や習慣を学ぶことができました。

何よりも、この交流プログラムを通して新しい友達を作り、お互いの文化を尊重し、学ぶ喜びを感じました。様々なバックグラウンドを持つ人々との出会いは、私の視野を広げ、グローバル社会の一員として成長するきっかけとなりました。

このプログラムは、単なる海外体験を超えて、自分自身を見つめ直し、新たな挑戦を通して成長できる貴重な機会でした。今後もこのような経験をもとにもっと多くのことを学び、他の人にもこのような機会をお勧めしたいと思います。

３．学校交流の感想

韓国の学生は、日本学校からダンスやクイズを用意し、日本学校からは、自国の学校を紹介する発表や日本の伝統的な遊びを紹介してくれました。これらの活動は、お互いの文化や伝統を深く理解し、交流できる貴重な体験となり、とても有意義な時間でした。

４．ホームステイの感想

＜家族構成＞

私のホームステイ先は、お母さん、お父さん、お母さん、お姉さん、そして妹で構成された温かく優しい家族でした。この家族は日本の伝統的な家庭の雰囲気をよく表しており、私は彼らの日常生活の中で多くのことを学び、親しみを感じました。

＜アクティビティ＞

ホームステイ中、家族と一緒に様々なアクティビティを楽しむことができました。まず、ショッピングをしながら日本のお店を巡り、日本の商業文化や地元の商品に触れることができました。第二に、日本の伝統的なお祭りに参加しました。お祭りでは、日本の伝統的な衣装や様々な文化イベントを体験し、日本のユニークな文化を深く理解することができました。

＜食事について＞

食事は特に印象に残っています。家族と一緒にたこ焼きを作り、日本の代表的な屋台の食べ物を自分で作る楽しさを感じました。また、新鮮なお寿司を一緒に食べ、日本の伝統的な食べ物を楽しみました。これらの食事は、日本文化の重要な部分を直接体験する貴重な時間でした。

＜総評＞

ホームステイ体験を通して、日本の日常生活を深く理解することができ、現地の家族との交流を通して多くのことを学ぶことができました。暖かいおもてなしと様々な文化体験をすることができたこの経験は、私にとって大きな意味と思い出として残っています。

５．文化体験について

＜金箔体験＞

金箔体験は、日本の伝統工芸技術を直接学べる機会でした。金箔は日本の伝統的な装飾技術であり、金属を非常に薄い箔の形にし、様々な芸術作品や装飾に使用されています。この体験を通して、金箔を直接扱い、日本の繊細な工芸技術を体験することができました。作業過程で金箔の特性や活用方法を学び、日本の伝統美術への理解を深めることができました。

＜染色体験＞

染色体験は、日本の伝統的な染色技法を学ぶ機会でした。この体験では、日本の伝統的な染色技法を使って直接染色を行いました。染色の過程で、日本の伝統的な文様や色の美しさを体験し、日本の染色技術の複雑さと繊細さを感じることができました。自分で作った染色作品は、日本の伝統文化を直接体験し、創造性を発揮する良い機会となりました。

＜石川県の訪問先＞

石川県を訪問し、様々な歴史的、文化的な場所を探索することができました。特に兼六園は日本の代表的な庭園で、美しい景観と日本の伝統的な庭園の真髄を体験できる場所でした。兼六園の広大な庭園や池、伝統的な建築物は、日本の伝統的な美学を深く体験する機会を提供しました。

また、石川県の金沢城を訪問し、日本の歴史と軍事建築への理解を深めることができました。これらの訪問地は、日本の伝統と現代が調和している様子を示し、深い文化体験を提供しました。

＜総評＞

今回の文化体験では、日本の伝統工芸や染色技術を直接学ぶことができたことが特に印象に残っています。兼六園や金澤城をはじめとする様々な訪問先を通して、日本の奥深い文化を体験し、日本の伝統と現代的な感覚をより深く理解することができました。これらの経験は、私にとって大きな意味と大切な思い出となりました。

６．宿泊・食事について

＜宿泊施設＞

全北・石川県交流プログラム中の宿泊は、日本の様々な宿泊環境を体験する機会でした。ほとんどの期間、私たちは日本のホテルに滞在し、快適な施設とサービスの恩恵を受けることができました。ホテルの近代的なアメニティのおかげで快適に過ごすことができましたが、日本のホテルでの宿泊体験は特に思い出深いものでした。

ある日、私たちは畳の部屋がある伝統的な宿泊施設に滞在しました。畳の部屋は日本の伝統的な部屋で、快適な睡眠を提供しました。この伝統的な宿泊施設での経験は、日本の伝統的な生活様式をより深く理解するのに役立ちました。

＜食事について＞

食事は、日本の様々な伝統的な食べ物を体験する機会でした。ラーメンは日本の代表的な麺料理で、深く豊かな味わいのスープと歯ごたえのある麺を味わうことができました。この美味しいラーメンは、日本の食文化の重要な部分を直接体験する機会となりました。

また、カレーを食べながら、日本式カレーの独特な味と調理方法を体験しました。日本のカレーは、深い味と豊かな香りが特徴で、様々な食材が調和した味を感じることができました。

お好み焼きは日本の伝統的なオムレツ料理で、様々な具材とソースを使ったこの料理は特に印象的でした。自分で調理して試食できたお好み焼きは、日本料理の多様性を体験するのにとても役に立ちました。

＜総評＞

宿泊と食事は、日本の伝統と現代を同時に体験する機会を提供してくれました。ホテルでの快適な宿泊、畳の部屋での伝統的な日本式の睡眠、そして様々な日本の伝統的な食べ物は、今回の交流プログラムの貴重な経験をより豊かにしてくれました。この経験は、私にとって大きな意味と大切な思い出として残っています。

７．その他（日本での生活、文化の違い、安全上の留意事項など）

＜現地での生活＞

石川県での生活は、日本の日常文化を深く体験できる貴重な機会でした。現地での生活は、日本の親切で礼儀正しい人々のおかげで、とても快適に過ごすことができました。毎朝、家族と一緒に日常会話をしながら、日本語や文化について学ぶことができました。また、現地の様々なアクティビティや観光スポットを巡りながら、日本の文化や習慣を自然に理解することができました。

＜文化の違い＞

日本と韓国の間には様々な文化的な違いがありました。日本では、礼儀やルールを重視する文化が顕著でした。例えば、公共の場では静かにするなど基本的なマナーを徹底し、道路を横断する際には信号を守ることが重要でした。もう一つの違いとしては、日本の食事のマナーがありました。日本では、食事中は音を立てずに静かに食べるのが一般的で、食べる前に手を洗うことも重要なマナーとされていました。

＜安全と注意点＞

日本は全体的に安全な国として知られていますが、いくつかの注意点がありました。まず、日本の交通法規をしっかり守ることが重要です。特に、道路では歩行者と車の優先権に注意し、交通信号をしっかり守る必要があります。

第二に、日本の自然災害への備えが必要です。日本は地震が頻繁に発生する地域であるため、緊急事態が発生した場合の対処方法を事前に熟知しておく必要があります。宿泊施設や公共の場所で提供される安全指示によく従うことが重要です。

第三に、日本ではゴミの分別収集が厳格に行われているため、分別収集のルールをよく理解し、従うことが必要です。各種ゴミは指定された日に、指定された方法で処理する必要があります。

＜総評＞

石川県での経験は、日本の文化や生活様式を深く理解できる貴重な時間でした。日本の日常的なマナーや文化的な違いを学び、安全とルールを守ることの大切さを実感しました。これらの経験は、今後の海外生活や旅行に大いに役立つと思います。

（一部抜粋・翻訳）

# 令和６年度「21世紀石川少年の翼」（韓国・全北特別自治道青少年訪問団受入）日程

| | 月　日 | 時　刻 | 日　　程 | 宿　泊　先 |
|---|---|---|---|---|
| 1日目 | 7月26日（金） | 7：30<br>9：15<br>11：40<br>13：30<br>14：30<br>16：30<br>18：00 | 仁川空港発（KE775）<br>小松空港着<br>昼食<br>知事表敬<br>学校訪問（津幡南中学校）<br>クルーズターミナル<br>ホストファミリー対面式 | ホームステイ |
| 2日目 | 7月27日（土） | | ホームステイ | ホームステイ |
| 3日目 | 7月28日（日） | 14：00<br>14：15<br>16：00<br>16：40<br>17：30 | 県立歴史博物館にて少年の翼過去参加者との交流会<br>兼六園<br>金沢城公園<br>夕食 | ホテルマイステイズ<br>金沢キャッスル |
| 4日目 | 7月29日（月） | 9：30<br>11：30<br>13：15<br>14：15<br>15：15<br>17：00<br>17：30 | 金箔体験（箔一　箔巧館）<br>昼食<br>気多大社<br>妙成寺<br>道の駅のと千里浜<br>イオン金沢店<br>夕食 | ホテルマイステイズ<br>金沢キャッスル |
| 5日目 | 7月30日（火） | 9：30<br>13：20 | 友禅染体験（ゆのくにの森）<br>昼食<br>白山手取川ジオパーク<br>（綿ヶ滝→桑島化石壁→白山恐竜パーク→百万貫の岩） | 大江戸温泉物語<br>片山津ながやま |
| 6日目 | 7月31日（水） | 8：15<br>8：40<br>10：40 | ホテル発<br>小松空港着<br>小松空港発（KE776）<br>→仁川空港着 | |

# 令和６年度「21世紀石川少年の翼」（韓国・全北特別自治道青少年訪問団）名簿

## 管　理　員

| NO. | 区　　分 | 氏　　名 | 所　　属 |
|---|---|---|---|
| 1 | 団　長 | チャン ヒョブチン<br>張　協鎮 | 全北特別自治道<br>外国人国際政策課　主務官 |
| 2 | 指導員 | チェ　ジュンヨン<br>崔　埈瑛 | 群山月名中学校　教員 |
| 3 | 指導員 | イ　ミンジュ<br>李　愍主 | 全州槿暎中学校　教員 |

## 団　　員

| NO. | 学　　校 | 氏　　名 | 学　年 |
|---|---|---|---|
| 1 | チョンジュグニョン<br>全州槿暎中学校 | カン　テイン<br>姜 泰印 | ２年 |
| 2 | 全州槿暎中学校 | キム　ジュア<br>金 住峨 | ２年 |
| 3 | 全州槿暎中学校 | キム　ド　ヒ<br>金 度希 | ２年 |
| 4 | 全州槿暎中学校 | ユ　ガヨン<br>劉 佳英 | ２年 |
| 5 | 全州槿暎中学校 | キム ギョンヒョン<br>金 敬現 | ２年 |
| 6 | 全州槿暎中学校 | アン　ゴンフ<br>安 建厚 | ２年 |
| 7 | クンサンウォルミョン<br>群山月名中学校 | キム ガヒョン<br>金 佳炫 | ２年 |
| 8 | 群山月名中学校 | キム　テユン<br>金 兌潤 | ２年 |
| 9 | 群山月名中学校 | チョン ガウン<br>鄭 嘉恩 | ３年 |
| 10 | 群山月名中学校 | キム ヒチャン<br>金 熙撰 | ３年 |
| 11 | 群山月名中学校 | チョン ユジン<br>鄭 有珍 | ３年 |
| 12 | 群山月名中学校 | キム　シヨン<br>金 是延 | ３年 |

# 「21世紀石川少年の翼」これまでのあゆみ

**韓国・全北特別自治道**

| 回 | 年度 | 派遣 | | | | 受入 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 日程 | 団長 | 副団長 | 参加人数 | 日程 | 参加人数 |
| 1 | 昭和61年度 | 8月4日(月)～8月8日(金) | 中西知事 | 吉田教育次長 | 100 | － | － |
| 2 | 昭和62年度 | 8月3日(月)～8月7日(金) | 杉山副知事 | 善局長 | 100 | － | － |
| 3 | 昭和63年度 | 8月5日(金)～8月9日(火) | 中西知事 | 吉田参与 | 125 | － | － |
| 4 | 平成元年度 | 8月9日(水)～8月14日(月) | 中西知事 | 吉田参与 | 92 | 7月27日(木)～8月2日(水) | 61 |
| 5 | 平成2年度 | 8月8日(水)～8月13日(月) | 杉山副知事 | 山田局長 | 90 | 7月26日(木)～7月31日(火) | 110 |
| 6 | 平成3年度 | 8月7日(水)～8月12日(月) | 肥田教育長 | 柏木局次長 | 110 | 7月25日(木)～7月30日(火) | 110 |
| 7 | 平成4年度 | 8月5日(水)～8月10日(月) | 中西知事 | 寺西局長 | 110 | 7月23日(木)～7月28日(火) | 98 |
| 8 | 平成5年度 | 8月5日(木)～8月10日(火) | 太田副知事 | 佐藤県参事 | 110 | 7月22日(木)～7月27日(火) | 118 |
| 9 | 平成6年度 | 8月5日(金)～8月10日(水) | 谷本知事 | 山岸局長 | 111 | 7月27日(水)～8月1日(月) | 164 |
| 10 | 平成7年度 | 8月6日(日)～8月11日(金) | 山岸局長 | － | 104 | 7月26日(水)～7月31日(月) | 114 |
| 1 | 平成8年度 | 8月4日(日)～8月9日(金) | 竹部教育参事 | 越島局次長 | 75 | 7月24日(水)～7月29日(月) | 86 |
| 2 | 平成9年度 | 8月3日(日)～8月8日(金) | 中山教育次長 | － | 62 | 7月23日(水)～7月28日(月) | 85 |
| 3 | 平成10年度 | 8月9日(日)～8月14日(金) | 北川局長 | － | 71 | 7月29日(水)～8月3日(月) | 77 |
| 4 | 平成11年度 | 8月8日(日)～8月13日(金) | 倉本教育次長 | － | 66 | 7月28日(水)～8月2日(月) | 70 |
| 5 | 平成12年度 | 8月6日(日)～8月11日(金) | 上乗教育次長 | － | 50 | 7月26日(水)～7月31日(月) | 50 |
| 6 | 平成13年度 | 8月8日(水)～8月13日(月) | 村井教育次長兼学校指導課長 | － | 47 | 7月25日(水)～7月30日(月) | 50 |
| 7 | 平成14年度 | 8月7日(水)～8月12日(月) | 鹿野教育ｾﾝﾀｰ所長 | － | 37 | 7月24日(水)～7月29日(月) | 41 |
| 8 | 平成16年度 | 7月23日(金)～7月28日(水) | 金田教育次長 | － | 18 | 8月6日(金)～8月11日(水) | 20 |
| 9 | 平成17年度 | 7月22日(金)～7月27日(水) | 太田課長 | － | 14 | 8月3日(水)～8月8日(月) | 17 |
| 10 | 平成18年度 | 8月4日(金)～8月9日(水) | 豊原課長 | － | 16 | 7月26日(水)～7月31日(月) | 20 |
| 11 | 平成19年度 | 7月25日(水)～7月30日(月) | 井川寺井高校長 | － | 14 | 8月8日(水)～8月13日(月) | 12 |
| 12 | 平成20年度 | 8月8日(金)～8月13日(水) | 三国局長 | － | 15 | 7月30日(水)～8月4日(月) | 15 |
| 13 | 平成21年度 | 8月19日(水)～8月24日(月) | 田西課長 | － | 23 | － | － |
| 14 | 平成23年度 | 8月5日(金)～8月10日(金) | 北村次長 | － | 13 | － | － |
| 15 | 平成24年度 | － | － | － | － | 8月8日(水)～8月13日(月) | 12 |
| 16 | 平成25年度 | 7月26日(金)～7月31日(水) | 木島課長 | － | 13 | － | － |
| 17 | 平成26年度 | － | － | － | － | 7月23日(水)～7月28日(月) | 13 |
| 18 | 平成28年度 | 7月29日(金)～8月3日(水) | 戒田課参事兼課長補佐 | － | 8 | － | － |
| 19 | 平成29年度 | － | － | － | － | 8月4日(金)～8月9日(水) | 12 |
| 20 | 平成30年度 | 7月27日(金)～8月1日(水) | 北川課参事兼課長補佐 | － | 12 | － | － |
| 21 | 令和元年度 | － | － | － | － | 1月17日(金)～1月22日(水) | 8 |
| 22 | 令和5年度 | 8月2日(水)～8月7日(月) | 馳知事 | － | 12 | － | － |
| 23 | 令和6年度 | － | － | － | － | 7月26日(金)～7月31日(水) | 12 |

※1　平成7年度までは、「日韓少年交流事業」として実施
※2　交流団体は、昭和61年度～平成9年度は「世界文化交流協会」、平成10年度～は「韓国青少年連盟」、平成16年度～は「韓国青少年全北連盟」、平成28年度～は「全羅北道庁国際協力課」
※3　全北特別自治道への派遣は平成12年度から、受入は平成16年度から実施
※4　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※5　平成21年度は新型インフルエンザの影響により受入を中止
※6　平成27年度は中東呼吸器症候群（MERS）の影響により中止
※7　令和2・3・4年度は新型コロナウイルスの影響により中止（令和3・4年度はオンラインでの実施）

**中国・江蘇省**

| 回 | 年度 | 派遣 | | | | 受入 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 日程 | 団長 | 副団長 | 参加人数 | 日程 | 参加人数 |
| 1 | 平成８年度 | ８月５日(月)～８月10日(土) | 谷本知事 | 山岸局長 | 20 | ７月23日(火)～７月28日(日) | 8 |
| 2 | 平成９年度 | ８月９日(土)～８月14日(木) | 山岸局長 | － | 20 | ７月23日(水)～７月28日(月) | 8 |
| 3 | 平成10年度 | ８月16日(日)～８月21日(金) | 中村教育次長 | － | 20 | ７月29日(水)～８月３日(月) | 8 |
| 4 | 平成11年度 | ８月15日(日)～８月20日(金) | 中西局長 | － | 12 | ７月28日(水)～８月２日(月) | 8 |
| 5 | 平成12年度 | ８月13日(日)～８月18日(金) | 東局次長 | － | 20 | ７月26日(水)～７月31日(月) | 8 |
| 6 | 平成13年度 | ８月５日(日)～８月10日(金) | 中西局長 | － | 19 | ７月25日(水)～７月30日(月) | 8 |
| 7 | 平成14年度 | ８月４日(日)～８月９日(金) | 大井局長 | － | 16 | ７月24日(水)～７月29日(月) | 8 |
| 8 | 平成16年度 | ７月24日(土)～７月28日(水) | 竹中次長 | － | 16 | ８月５日(木)～８月10日(火) | 8 |
| 9 | 平成17年度 | ７月24日(日)～７月29日(金) | 山本国際交流協会専務 | － | 5 | ８月２日(火)～８月７日(日) | 10 |
| 10 | 平成18年度 | ８月３日(木)～８月８日(火) | 山口県参事 | － | 5 | ７月20日(木)～７月25日(火) | 10 |
| 11 | 平成19年度 | ７月24日(火)～７月29日(日) | 豊原課長 | － | 8 | ８月７日(火)～８月12日(日) | 8 |
| 12 | 平成20年度 | ８月３日(日)～８月８日(金) | 岩本学校指導課長 | － | 5 | ７月24日(木)～７月29日(火) | 8 |
| 13 | 平成21年度 | ８月20日(木)～８月25日(火) | 八十田七尾高校長 | － | 6 | ８月６日(木)～８月11日(火) | 8 |
| 14 | 平成22年度 | － | － | － | － | ８月19日(木)～８月24日(火) | 8 |
| 15 | 平成23年度 | ７月28日(木)～８月２日(火) | 田西国際交流協会専務 | － | 10 | － | － |
| 16 | 平成24年度 | － | － | － | — | ７月26日(木)～７月31日(火) | 8 |
| 17 | 平成25年度 | ７月26日(金)～７月31日(水) | 田西国際交流協会専務 | － | 4 | － | － |
| 18 | 平成26年度 | － | － | － | － | ７月24日(木)～７月29日(火) | 8 |
| 19 | 平成27年度 | ７月30日(木)～８月４日(火) | 藤村課長 | － | 5 | － | － |
| 20 | 平成28年度 | － | － | － | － | ７月21日(木)～７月26日(火) | 8 |
| 21 | 平成29年度 | ８月３日(木)～８月８日(火) | 戒田課参事兼課長補佐 | － | 8 | － | － |
| 22 | 平成30年度 | － | － | － | － | ７月26日(木)～７月31日(火) | 8 |
| 23 | 令和元年度 | ７月25日(木)～７月30日(火) | 戒田課長 | － | 8 | － | － |
| 24 | 令和５年度 | － | － | － | － | ７月26日(水)～７月31日(月) | 8 |
| 25 | 令和６年度 | ８月１日(木)～８月６日(火) | 沖野課長 | － | 12 | － | － |

※1　交流団体は、「中国江蘇省人民対外友好協会」　※2　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※3　令和２・３・４年度は新型コロナウイルスの影響により中止（令和３・４年度はオンラインでの実施）

**ロシア・イルクーツク州**

| 回 | 年度 | 派遣 | | | | 受入 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 日程 | 団長 | 副団長 | 参加人数 | 日程 | 参加人数 |
| 1 | 平成10年度 | － | － | － | － | 7月29日(水)～8月5日(水) | 9 |
| 2 | 平成11年度 | 8月13日(金)～8月20日(金) | 大蔵教育次長 | － | 8 | － | － |
| 3 | 平成12年度 | － | － | － | － | 7月21日(金)～7月28日(金) | 11 |
| 4 | 平成13年度 | 8月17日(金)～8月24日(金) | 東局次長 | － | 8 | － | － |
| 5 | 平成14年度 | － | － | － | － | 7月19日(金)～7月26日(金) | 10 |
| 6 | 平成16年度 | 7月31日(土)～8月7日(土) | 新宅局長 | － | 9 | － | － |
| 7 | 平成17年度 | － | － | － | － | 7月30日(土)～8月6日(土) | 10 |
| 8 | 平成18年度 | 7月29日(土)～8月5日(土) | 上田金沢泉丘高校長 | － | 8 | － | － |
| 9 | 平成19年度 | － | － | － | － | 8月5日(日)～8月12日(日) | 8 |
| 10 | 平成20年度 | 8月4日(月)～8月11日(月) | 向峠次長 | － | 8 | － | － |
| 11 | 平成22年度 | 8月1日(日)～8月6日(金) | 良澤課参事兼課長補佐 | － | 8 | － | － |
| 12 | 平成23年度 | － | － | － | － | 8月5日(金)～8月12日(金) | 7 |
| 13 | 平成24年度 | 8月3日(金)～8月11日(土) | 北村次長 | － | 10 | － | － |
| 14 | 平成25年度 | － | － | － | － | 7月22日(月)～7月29日(月) | 8 |
| 15 | 平成26年度 | 8月1日(金)～8月9日(土) | 清水次長 | － | 10 | － | － |
| 16 | 平成27年度 | － | － | － | － | 7月22日(水)～7月29日(水) | 8 |
| 17 | 平成28年度 | 8月2日(火)～8月9日(火) | 藤村課長 | － | 9 | － | － |
| 18 | 平成29年度 | － | － | － | － | 7月23日(日)～7月29日(土) | 7 |
| 19 | 平成30年度 | 7月31日(火)～8月7日(火) | 坂井課長 | － | 8 | － | － |
| 20 | 令和元年度 | － | － | － | － | 7月21日(日)～7月28日(日) | 9 |

※1　交流団体は、「ロシアイルクーツク州政府」
※2　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※3　平成21年度は新型インフルエンザの影響により中止
※4　令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響により中止（令和3年度はオンラインでの実施）

## 令和6年度「21世紀石川少年の翼」実行委員会委員名簿

| 職名 | 氏名 | 備考 |
|---|---|---|
| 石川県文化観光スポーツ部長 | 竹沢淳一 | 委員長 |
| 石川県市長会事務局長 | 鳥倉俊雄 | 監査委員 |
| 石川県町長会事務局長 | 西本光弘 | 〃 |
| 石川県高等学校長協会会長 | 岡橋勇侍 | 委員 |
| 石川県小中学校長会理事 | 濱田貴宏 | 〃 |
| 石川県健民運動推進本部事務局長 | 針木江津子 | 〃 |
| 石川県教育委員会教育次長兼学校指導課長 | 北島公之 | 〃 |
| 石川県教育委員会生涯学習課長 | 岩木智子 | 〃 |
| 石川県少子化対策監室子育て支援課長 | 奥村優子 | 〃 |
| 石川県文化観光スポーツ部国際交流課長 | 沖野真奈美 | 事務局長 |

（以上10名）

21世紀石川少年の翼
交 流 事 業 報 告 書

令和６年度　21世紀石川少年の翼交流事業報告書

発　行　「21世紀石川少年の翼」実行委員会
（石川県文化観光スポーツ部国際交流課内）

〒920-8580　石川県金沢市鞍月１丁目１番地
TEL 076-225-1382　FAX 076-225-1383
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kokusai/
Eメールアドレス　e200500@pref.ishikawa.lg.jp